

2026 年度 環びわ湖大学・地域コンソーシアム 単位互換科目シラバス

滋賀大学

- 1. 福祉と教育 1
- 2. リベラルアーツ総合探求Ⅱ 2
- 3. 東アジアの多様性の理解..... 6
- 4. 社会と会計 8
- 5. 数学への招待..... 10

滋賀医科大学

- 6. 医療イノベーションの基礎..... 12

滋賀県立大学

- 7. おうみ学生未来塾（湖東） 14
- 8. SDGs と滋賀のグローバル・イノベーション
近江の暮らしとなりわい..... 15
- 9. 地域コミュニケーション論..... 16
- 10. びわこ環境行政論 17
- 11. 地域産業・企業から学ぶ社長講義..... 18

滋賀短期大学

- 12. 近江学入門 19
- 13. 地域ビジネス論..... 20

滋賀文教短期大学

- 14. 地域の歴史と民俗文化 21

成安造形大学

- 15. 近江学 B(おうみ学生未来塾（湖西）) 23
- 16. 東洋・日本美術史概説 A 24
- 17. 東洋・日本美術史概説 B 25
- 18. 西洋美術史概説 A 26
- 19. 西洋美術史概説 B 27
- 20. デザイン史概説 A 28
- 21. デザイン史概説 B 29

聖泉大学

- 22. ペアレンティング論..... 30
- 23. 老年看護論 31
- 24. 人間関係論 32
- 25. 成人看護論 33

長浜バイオ大学

- 26. 基礎微生物学 34
- 27. 動物系統分類学..... 35
- 28. 人工知能概論 36

びわこ学院大学

- 29. 子ども学総論 37
- 30. 滋賀の環境..... 38
- 31. スポーツ医学概論 A..... 39
- 32. メンタルトレーニング論 40
- 33. レクリエーション論 41
- 34. 生活と福祉..... 42

びわこ成蹊スポーツ大学

- 35. 中高齢者と生涯スポーツ 43
- 36. 自然環境とアウトドアスポーツ 44
- 37. グッドコーチング論Ⅰ 45
- 38. スポーツ政策論..... 46
- 39. 身体操作法 47

びわこリハビリテーション専門職大学

- 40. 神経科学総論 A..... 48
- 41. 神経科学総論 B..... 49

立命館大学

- 42. 生命科学概論（M） 50
- 43. 近現代の科学技術（G1） 52
- 44. スポーツマネジメント概論 54
- 45. 薬学概論 56
- 46. 経済学特殊講義Ⅱ
（金融・証券分析基礎）(E)..... 59
- 47. 特殊講義(教養 E)Ⅰ
（アントプレナーシップと事業創造）(T)..... 61

龍谷大学

- 48. 植物生理・生化学Ⅰ 64
- 49. 食と嗜好の科学..... 66
- 50. 生活の中の数学..... 68

科目番号	1	科目名	福祉と教育	
英文科目名				
大学・短期大学名	滋賀		大学	
連絡先	滋賀大学学務課総務係			
	TEL :	0749-27-1017	FAX :	0749-24-5122
担当教員	羽山 裕子		(教育 学部 准教授)	
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名	第24講義室	会場	大津キャンパス	
授業期間	2026年4月14日(火)～2026年7月21日(火) <毎週火曜日> 2 時限・講時 10 : 30 ~ 12 : 00			
超過時の選考方法	書類により選考			
成績評価方法	定期試験(筆記)			%
	レポート試験(期末)		60	%
	平常点(出席・授業態度)		10	%
	その他(各回の授業の振り返り)		30	%
別途負担費用	なし		あり()円	
その他特記事項				
<講義概要・到達目標>				
【授業の目的と概要】				
本講義では、学校教育の基本的な仕組みについて学び、さらに、現代的諸課題に対して学校や関係機関がどのように対応し得るのかを考えていく。講義は大きく三つのテーマに分けられる。1)学校教育の基本的な仕組みの理解(主に第1回～第5回)、2)多様な課題に対する学校教育での対応(主に第6回～第10回)、3)学校教育の周辺に位置づく人や機関(主に第11回～第15回)である。				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	4月14日	オリエンテーション		
2	4月21日	何を学ぶか——カリキュラム		
3	4月28日	どのように学ぶか——学習の場、学習形態		
4	5月8日	何を使って学ぶか——教材、教具		
5	5月12日	学びをどのようにとらえるか——教育評価		
6	5月19日	障害があったら？		
7	5月26日	病気になったら？		
8	6月2日	経済的に困難を抱えていたら？		
9	6月9日	日本の言語や文化に不慣れだったら？		
10	6月16日	学校に行きたくなかったら？		
11	6月23日	就学前とのつながり		
12	6月30日	放課後の居場所		
13	7月7日	塾と学校		
14	7月14日	保護者		
15	7月21日	まとめ		
<教科書・参考書>				
教科書は特に指定しない。講義内で資料を配布しながら進める。				

科目番号	2	科目名	リベラルアーツ総合探究Ⅱ		
英文科目名					
大学・短期大学名	滋賀			大学	
連絡先	滋賀大学学務課総務係				
	TEL :	0749-27-1017	FAX :	0749-24-5122	
担当教員	渡邊 史 (教育 学部 准教授)				
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用		
教室名	第4講義室	会場	大津キャンパス		
授業期間	2026年10月5日(月)～2027年1月25日(月) <毎週月曜日> 3 時限・講時 12 : 50 ~ 14 : 20				
超過時の選考方法	書類により選考				
成績評価方法	定期試験(筆記)				%
	レポート試験(期末)				%
	平常点(出席・授業態度)	90			%
	その他 (「作品」の提出、スムーズな作製プロセス、また特筆に値する表現などが加点(1-10点)評価の対象となる)	10			%
別途負担費用	なし		あり()円		
その他特記事項	<p><講義概要・到達目標></p> <p>【授業の目的と概要】 本講義は副題を【Show must go on】と題し、Entertainmentの構成に関する様々な要素を学び、実地に体験する機会を提供しつつ展開します。</p> <p>今回、協力を仰ぐ「ひこね市文化プラザ」はじめ、「地方公共ホール(劇場)が抱える課題」に対し、「Entertainment(エンタメ)」の消費者、提供者、両面の視点をもって臨みつつ、解決の方法を模索しましょう。グループワークを通じて仲間同士で協力しあい、実践的に深く「エンタメ」と関わることから、地域社会の課題解決に向き合います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者を数名ずつのグループに分け、「オリジナル作品」を作製することを最終目的とします。 ・全グループ共通課題として、「一曲(ポピュラー楽曲)」を指定しますので、それをベースとしつつ、「物語(story)」を作りましょう。 ・講義内で作品構成要素となる事々、「台本、脚本」「セリフ、ナレーション」「音楽」などの作成、使用、効果についての知識を学び、実践体験機会を持ちます。それらの学びを活用し5-10分程度の「動画作品」を作成しましょう。 ・出来上がった「作品」は「動画データ(mp4.)」として提出し、webにて、広く社会に発表します。 <p>【目的】 本講義は作品作製の「プロセス」それ自体が主軸です。 受講者が分野横断的な視点をもって総合的な問題解決に挑み、各種課題の発見、解決能力獲得・育成のきっかけに出会うことが、講義の目的です。 「エンタメ作品」作成の「立案」から「発表」を実現するには具体的な各種手順が必要であり、適時適切に「問題解決能力」の発揮が要求されます。多面的視点をもって様々な情報、要素を活用・統合し、「課題の発見・解決」のために論理的思考を働かせていく、文字どおり“Active Learning”の機会となりましょう。 また、本講義にては「他者との協働」が重要です。 「作品」作製の過程においては、対話を通じて他者の考え方を吟味し、個々の考え方の適用範囲を広げながらあらゆる具体的可能性を模索し、解決へ向けてプロジェクトを進行させていくこととなります。</p> <p>【概要】 全15回の講義にて、“Entertainment作品”の構築に不可欠な様々な要素、課題を具体的に提示します。 各時内は「座学」と「グループワーク」で構成され、毎回、配布する「ワークシート」の項目を適切に埋めていくことで、各自の取り組み内容整理、進捗確認が可能でです。 ワークシートを活用した作成プロセスの進行形式は、これまで小学校3年～成人が体験してきたものであり、年齢に関わらず、多面的視野、論理的思考能力構築に、効果が認められています。 講義内の適時にグループごとに進捗報告会を行います。 各グループが希望する事項については、個別指導機会を設けます。</p>				

<授業スケジュール>

回	月日	テーマ・キーワード
1	10月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・「劇場」の役割と課題 ・Entertainment作品の歴史～総合芸術“Opera”を例に
2	10月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・作品作製スケジュールについて ■「セリフ」と「ナレーション」～両者の違いを踏まえ、言語音声の発信技術を体験する ・言語(日本語、外国語)の特徴を踏まえた発音取り組み ・滑舌のヒントとトレーニング ・音読、朗読、「セリフ術」基礎
3	10月26日	<ul style="list-style-type: none"> ■グループ分け～作業グループを作る ■物語(Story)をつくる～物語の発案、組み立て方 ・主題(テーマ)の設定 ・登場人物 ・エピソードと見せ場 ・物語の構成
4	11月2日	<ul style="list-style-type: none"> ■台本(script, libretto, scenario)とは～「台本」「脚本」「シナリオ」「戯曲」 ・台本用語 ・書き方のヒント ・「台本」を読む ・原作と台本の比較
5	11月9日	<ul style="list-style-type: none"> ■歌詞(Lyrics)とは ・「詩」と「歌詞」の違い ・歌詞の読み解き(既存の歌詞を参考に) ・作成のヒント
6	11月16日	<ul style="list-style-type: none"> ■音楽の役割(Sound Effect, Leitmotif)～音楽のもたらす効果と種類 ・「ライトモチーフ」とは ・「劇伴」とは ・「効果音 SE」とは ・「音」の探し方、作り方
7	11月23日	<ul style="list-style-type: none"> ■ステージング実践 この回のみ、対面形式・120分の特別構成にて行います。 外部講師(黒田晋也氏:歌手、演出家、振り付け家)を招いた実践機会です。 欧米諸国で「演劇」は幼少期からカリキュラムとして基礎教育に取り入れられています。仕草、表情、立ち居振る舞い…身体から発信される様々な情報…あなたは、他者からどのように視えているでしょう。舞台での「観え方、魅せ方」を体験、工夫してみましょう。表現力の構築、拡大は「技術」として、日常のコミュニケーションにも活用できます。全身のストレッチからはじめ、「舞台での観え方、魅せ方」を実体験します。 ・11/15(日)…大津キャンパスにて開催される「公開講座14:00-16:00」(予定) または ・11/17(月)…彦根キャンパスにて開講される「公開講座10:00-12:00」(予定) どちらかに参加することで、出席と認めることができます。(事前登録制) ・講義内容は収録しますので、オンデマンド講義としても展開できる予定ですが、実出席での体験を推奨します。 ・いずれの形においても、フィードバック提出をもって出席と認めます。
8	11月30日	・進捗発表会(グループごと)_予定
9	12月7日	・グループ指導_予定
10	12月14日	・グループ指導_予定
11	12月21日	・進捗報告会1～質疑応答_予定
12	12月24日	・グループ指導_予定
13	1月4日	・グループ指導_予定
14	1月18日	・進捗報告会1～質疑応答_予定
15	1月25日	・最終講義～報告会

<教科書・参考書>

【参考書1】

ISBN 978-4-560-08200-

書名 発声と身体のレッスン：魅力的な「こえ」と「からだ」を作るために

著者名 鴻上, 尚史 著

出版社 白水社

出版年 2012.4

【参考書2】

ISBN 978-4-560-08176-

書名 演技と演出のレッスン：魅力的な俳優になるために

著者名 鴻上, 尚史 著

出版社 白水社

出版年 2011.12

【参考書3】

ISBN 4-480-68735-1

書名 俳優になりたいあなたへ

著者名 鴻上, 尚史 著

出版社 白水社

出版年 2006.5

【参考書4】

ISBN 978-4-06-277114-

書名 あなたの思いを伝える表現力のレッスン

著者名 鴻上, 尚史 著

出版社 講談社

出版年 2012.1

【参考書5】

ISBN 4-06-149422-8

書名 演劇入門

著者名 平田オリザ 著

出版社 講談社

出版年 1998.10

【参考書6】

ISBN 978-4-413-11074-

書名 できる大人のモノの言い方大全=Learn to speak the way successful adults speak

著者名 話題の達人倶楽部

出版社 青春出版社

出版年 2012.10-

【参考書7】

ISBN 978-4-8005-9003-

書名 12歳までに知っておきたい語彙力図鑑：「伝える力」が伸びる!

著者名 齋藤孝 著

出版社 日本能率協会マネジメントセンター

出版年 2022.4

【参考書8】

ISBN 978-4-334-03570-

書名 ドキュメント宇宙飛行士選抜試験

著者名 大鐘良一, 小原健右 著

出版社 光文社

出版年 2010.6

【参考書9】

ISBN 9784276215221

書名 音楽に本気なきみへ：イッサーリスと読むシューマンの助言

著者名 スティーブン・イッサーリス 著,板倉克子 訳

出版社 音楽之友社

出版年 2022.2

【参考書10】

書名 『史センセイの声トレ道場』YouTube配信、DVD

著者名 渡邊 史

出版社 放送大学教育振興会

出版年 2023

【教材に対する補足情報】

【資料、レジュメ】

各回に資料を用意します。SULMSにてデータ提供します。

ワークシートは適時、紙媒体にて配布します。

資料や進捗プロセス把握のため、当該講義専用クリアファイル等の準備をお勧めします。

科目番号	3	科目名	東アジアの多様性の理解	
英文科目名				
大学・短期大学名	滋賀		大学	
連絡先	滋賀大学学務課総務係			
	TEL :	0749-27-1017	FAX :	0749-24-5122
担当教員	福浦 厚子		(経済 学部 教授)	
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名	-	会場	-	
授業期間	2026 年 4 月 14 日 (火) ~ 2026 年 7 月 21 日 (火) <毎週 火 曜日> 7 時限・講時 19 : 20 ~ 20 : 50			
超過時の選考方法	書類により選考			
成績評価方法	定期試験 (筆記)	100		%
	レポート試験 (期末)			%
	平常点 (出席・授業態度)			%
	その他 ()			%
別途負担費用	なし		あり () 円	
その他特記事項	学期末試験の点数を基準に評価しますが、合格点を下回った場合には平常点を参考として使います。			
<講義概要・到達目標>				
【授業の目的と概要】				
この科目は共通教養科目の一つです。「地域社会文化論(東南アジア)」や「文化人類学」「韓国語」「中国語」などといった科目を併せて履修することで、東アジアの文化や歴史がもつ多様な側面について体系的で総合的な知識を得ることができます。				
この授業では、東アジア(主に中国、韓国、日本、台湾など)における文化の多様性について理解することを目的とします。今年度は宗教の側面に注目し、検討します。具体的な事例に目を向けることで、その歴史的文化的な背景を理解できるよう取り組みます。そのため、東アジアと記していますが、タイやインドネシアといった東南アジアやインドやスリランカといった南アジアにも関連する事項がありますので、それらも視野に含みます。				
【授業形態】				
この授業はZoomを用いた同時双方向性オンライン授業です。開講時間に受講してください。ただし学期末試験は教室に来てもらい対面形式で実施します。				
Zoomに入室する際、「学籍番号・氏名」を表示してください。仮名ではZoomに入室できません。				
【授業の到達目標】				
この科目の到達目標は、経済学部のディプロマ・ポリシーである「社会人としての幅広い知識と汎用的能力」の習得をめざすことです。そのなかでもとくに「社会に関わる多様な学問に接し、広い知識と基礎的な考え方を習得している」ことを到達目標としています。				
今年度の講義では、東アジアの多様性について、宗教、祭祀の観点から、歴史を遡り現在に至るまでを概観します。東アジアといった地理的な区分を超えた多様な宗教の影響が及んでいるので、ときには南アジアや東南アジアにも広がる領域を視野に入れて検討し、それらが創造する多様な世界観を理解できることを到達目標としています。				
【事前学習・事後学習など授業時間外の学習】				
予習、復習の内容は授業内で指示します。講義のなかで取り上げた、あるいはそれに関連する資料は講義後にSULMSにアップしますので、復習用に利用してください。事前学習は必須ではありませんが、事後学習としてSULMSにある資料を読む、あるいは講義内容を復習するといったことを行ってください。また参考図書や資料を紹介しますので、読むようにしてください。参考文献も利用してください。				

<授業スケジュール>

回	月日	テーマ・キーワード
1	4月14日	はじめに この講義の進め方や目的などについて 取り扱う分野やテーマについて
2	4月21日	東アジア・東南アジアの宗教:日本
3	4月28日	東アジア・東南アジアの宗教:祖先祭祀その1
4	5月8日	東アジア・東南アジアの宗教:祖先祭祀その2
5	5月12日	東アジア・東南アジアの宗教:台湾・中国
6	5月19日	日本のなかの仏教
7	5月26日	宗教と不分明な利他的行為
8	6月2日	宗教における献身
9	6月9日	祖先祭祀におけるモノその1
10	6月16日	祖先祭祀におけるモノその2
11	6月23日	仏教とジェンダー
12	6月30日	神仏習合と廃仏毀釈
13	7月7日	東南アジアの神仏習合
14	7月14日	東アジアと東南アジアの宗教交流
15	7月21日	アジアのイスラーム

<教科書・参考書>

【参考書1】

ISBN 9784908672866

書名 土と石の記憶: 濟州島四・三事件と人びとの日常生活史

著者名 高村竜平

出版年 2025.11

【参考書2】

ISBN 9784874989234

書名 和解と平和の森: 北海道朱鞠内に朝鮮人強制労働の歴史を刻む

著者名 殿平善彦

出版年 2025.8

【参考書3】

ISBN 4480074074

書名 廃仏毀釈: 寺院・仏像破壊の真実

著者名 畑中, 章宏, 畑中章宏 著

出版年 2021.6

【教材に対する補足情報】

教科書は使いません。講義を受けて、ノートを取ってください。

科目番号	4	科目名	社会と会計	
英文科目名				
大学・短期大学名	滋賀		大学	
連絡先	滋賀大学学務課総務係			
	TEL :	0749-27-1017	FAX :	0749-24-5122
担当教員	笠井 直樹		(経済 学部 准教授)	
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名	-	会場	-	
授業期間	2026年10月5日(月)～2027年1月25日(月) <毎週月曜日> 7 時限・講時 19 : 20 ~ 20 : 50			
超過時の選考方法	書類により選考			
成績評価方法	定期試験(筆記)			%
	レポート試験(期末)			%
	平常点(出席・授業態度)			%
	その他(講義期間中に実施する期末最終試験)	100		%
別途負担費用	なし		あり()円	
その他特記事項	<p><講義概要・到達目標> ※初回講義ガイダンスに関する情報をSulmsのコースにあげるので確認すること。</p> <p>【授業の目的と概要】 この講義では、簿記会計等で扱う会計の計算技術的な側面にはあまり触れずに、会計および会計情報についてその社会的役立ちを理解してもらうことを主な目的とする。 どちらかといえば、会計情報(会計数値)をどのようにして計算するのかということよりも、会計情報(会計数値)が作成される仕組みを理解し、さらに、これらが社会において実際にどのように利用されているのかについて重点をおいて説明する。 具体例を挙げながらできるだけ平易に説明するように心がけるが、扱うトピックによっては多少前提知識が必要な場合もあるので、その場合は適宜こちらから補足的な解説を行う。 なお、併行履修科目として「簿記会計」および「会計学基礎」をあげておく。 また、より発展的な内容を学習したい場合は、「財務会計総論I・II」、「財務諸表分析論I・II」、「上級財務会計I・II」を履修することを勧める。</p> <p>【授業形態】 受講者の学習効果を高めると同時に、受講者の学習スタイルの多様性を確保するため、Sulms・MSStreamを利用したオンデマンド型講義を実施する。 受講者には、自宅あるいはその他の場所からMSStreamを利用し講義動画(pptファイルに解説用音声を付けたもの)を視聴する作業が求められる。 なお、講義資料についてはSulms上にアップロードされた講義資料(pdfファイル)を各自で入手する必要がある。 また、Sulms上で講義後の質問受付、期末最終試験(Sulmsの小テスト機能を利用)を行うため、こまめにチェックしておくように。</p> <p>【授業の到達目標】 会計情報(会計数値)が作成される仕組みを理解し、これらが社会において実際にどのように利用されているのかを理解すること。</p> <p>なお、この科目の到達目標は以下のディプロマ・ポリシーと特に関連がある。</p> <p>【経済学部のディプロマ・ポリシー】 1. 社会人としての幅広い知識と汎用的能力 ・経済についての専門的な知識と思考力を習得している。 ・社会に関わる多様な学問に接し、広い知識と基礎的な考え方を習得している。 ・自主的に問題を発見し、課題として解決できるように取り組むことができる。</p> <p>2. 専門的学識 (1)経済専攻 ・現代経済学についての基礎的な知識と多角的な考え方を習得している。 ・経済現象の基本的な内容と仕組みを理解することができ、その基礎的な分析の仕方を習得している。</p>			

(2)経営専攻

・企業や経営に関する事象を理解するための多くの考え方を修得し、広い視野に立って、企業経営、組織の意義、人々の協働の重要性を理解し、それらのあるべき姿についての意見を述べるができる。
・会計に関する基礎的な知識を修得し、様々な会計問題について適切に考えて議論することができ、さらに創造的な挑戦の試みによって社会に貢献できる。
・資本調達や投資決定を巡る意思決定をファイナンス理論の観点から理解することができ、その基礎的な分析の仕方を習得している。

【事前学習・事後学習など授業時間外の学習】

講義計画はあくまで予定であり、変更する可能性があることに留意されたい。必要な情報はSulms上にあげておくので必ず確認しておくように。

また、成績評価については、定期試験ではなく期末最終試験(Sulmsの小テスト機能を利用)を通じて評価を行うこととする。

単位取得のためには各回前後に最低でも合計で4～5時間程度の学習が必要である。

本講義では、財務会計・ファイナンス等の基礎知識に基づいた応用的なトピックを扱う。したがって、関連分野の知識を講義開始前にある程度理解しておくことが講義内容を理解するためには有用である。もちろん、受講後に不足している知識を修得することも可能である。

以下に各回の事後学習として学習が必要な内容を記載しておくので、確認しておくように。

1. ディスクロージャー制度と監査
2. 会計の意義
3. 複式簿記の仕組み
4. 会計史
5. 事業用資産
6. 金融資産
7. 損益計算書
8. 投資家向け情報・有価証券報告書
9. 資金の運用・安全性・収益性
10. 期間比較・企業間比較・無形(?)の資産
11. ROE・貸借対照表の分析・企業の特徴分析
12. 決算政策
13. ファンダメンタル分析:CF経営分析、グループ経営分析
14. ファンダメンタル分析:安全性分析・補足(BS、フリーCF、回転期間)
15. 利益マネジメント

<授業スケジュール>

回	月日	テーマ・キーワード
1	10月5日	講義ガイダンス
2	10月19日	会計の目的と仕組み
3	10月26日	複式簿記とは?
4	11月2日	複式簿記と会計の歴史
5	11月9日	財務会計の基礎①
6	11月16日	財務会計の基礎②
7	11月23日	財務会計の基礎③
8	11月30日	決算書の見方・調べ方
9	12月7日	決算書の見方①
10	12月14日	決算書の見方②
11	12月21日	決算書の見方③
12	12月24日	決算政策①
13	1月4日	ファンダメンタル分析
14	1月18日	ファンダメンタル分析(続き)
15	1月25日	決算政策②

<教科書・参考書>

【教材に対する補足情報】

教科書は特に指定せず、Sulms経由で講義資料を配布する。

科目番号	5	科目名	数学への招待		
英文科目名					
大学・短期大学名	滋賀			大学	
連絡先	滋賀大学学務課総務係				
	TEL :	0749-27-1017	FAX :	0749-24-5122	
担当教員	金谷 太郎			(経済 学部 准教授)	
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用		
教室名	-	会場	-		
授業期間	2026年10月1日(木)～2027年1月21日(木) <毎週木曜日> 7 時限・講時 19 : 20 ~ 20 : 50				
超過時の選考方法	書類により選考				
成績評価方法	定期試験(筆記)	60		%	
	レポート試験(期末)			%	
	平常点(出席・授業態度)	40		%	
	その他()			%	
別途負担費用	なし			あり()円	
その他特記事項					
<講義概要・到達目標>					
【授業の目的と概要】 統計学の基本的な考え方を理解することが目的である。確率の初歩的な事項から始めて、代表的な推定・検定の方法を学ぶ。					
【授業形態】 オンライン(オンデマンド)					
【授業の到達目標】 統計的推測の基本的な考え方を理解する。					
【事前学習・事後学習など授業時間外の学習】 予習として講義前に教科書に目を通し、要点や疑問点を確認する。(30分) 復習として演習問題等により、講義内容の理解を深める。(60分)					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	10月1日	オリエンテーション			
2	10月8日	確率			
3	10月15日	確率			
4	10月22日	確率			
5	10月29日	確率変数とその分布			
6	11月5日	確率変数とその分布			
7	11月12日	確率変数とその分布			
8	11月19日	標本分布			
9	11月26日	標本分布			
10	12月3日	標本分布			
11	12月10日	母数の推定			
12	12月17日	母数の推定			
13	1月7日	仮説検定			
14	1月14日	仮説検定			
15	1月21日	仮説検定			

<教科書・参考書>

【教科書1】

ISBN 9784915787133

書名 統計学入門

著者名 森棟公夫著,森棟,公夫

出版年 1990

【参考書1】

ISBN 9784130420655

書名 統計学入門

著者名 東京大学教養学部統計学教室／編,東京大学

出版年 1991

科目番号	6	科目名	医療イノベーションの基礎	
英文科目名	Fundamentals for Medical Innovation			
大学・短期大学名	滋賀医科		大学	
連絡先	学務課学部教育支援係			
	TEL :	077-548-2068	FAX :	077-548-2799
担当教員	尾松 万里子 (医 学部 副学長)			
実施方法	対面授業		遠隔授業	対面・遠隔併用
教室名	第1講義室	会場		
授業期間	2026年4月8日(水)～2026年7月29日(水) <毎週水曜日> 3 時限・講時 13 : 00 ~ 14 : 30			
超過時の選考方法	書類選考			
成績評価方法	定期試験(筆記)	-	%	
	レポート試験(期末)	60	%	
	平常点(出席・授業態度)	-	%	
	その他(発表)	40	%	
別途負担費用	なし		あり()円	
その他特記事項	<p>最終の2回(グループワーク及び発表)は出席を必須とする。出席回数が11回以上(出席率70%以上)の場合は、期末レポート課題の提出資格を認める。なお、最終成績は期末レポート課題の評価(60%)にグループワーク発表(内容、発表資料の分かりやすさ、発表の仕方)の評価(40%)を加味して評価する。</p> <p>【以下、滋賀医科大学より、本学での受講にあたっての必要書類のお知らせ】 滋賀医科大学では、感染症等防止のため、環びわの単位互換制度により来学する他大学の学生(本学では「特別聴講学生」としています。)におかれても、派遣元の大学の健康診断書(胸部X線検査結果を含む)の提出が必要となります。なお、健康診断書は直近もの(新入生は春の健康診断受診後)で結構です。履修を希望される方は、提出のご準備をお願いいたします。</p>			
<p><講義概要・到達目標> 【講義概要】 この授業では、15回にわたって医療人としての専門教育だけでは学べない医療を支える外的な要因(産業界の考え方、コミュニケーションの取り方、製品開発の進め方、それらに関連する知的財産権や薬事規制など)を学習する。更に、自身の考えをまとめて他の人の伝える発表の仕方を学習し、実習する。この一連の学習は、文部科学省の「次世代アントレプレナー育成事業(EDGE-NEXTプログラム)」を発展させるものとして実施する。一般的な経済活動の仕組みや視点を理解し、医療分野に限らず新しい「コト」にチャレンジし、自らの志を実現できる医療人の育成を目的とする。 1コマの授業の対して30分の予習と60分の復習を日常的に行い、休日などを利用して、さらに1コマあたり90分の復習が望まれます。</p> <p>【到達目標】 医学の発展はめざましく、それに対応するように医薬品や医療機器の分野でのイノベーション(革新的な製品やサービス等)が創出されてきており、医療人の医療知識・技術と共に最先端の医療を支える両輪として働いている。この授業では、自らが医療人となった際に広い視野で物事が捉えられる視点や異分野の人とコミュニケーション力や発表能力を養うことを目標とする。関係するDPおよびアウトカムの習得にあたって本講義では、以下を具体的な授業の到達目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 医療を取り巻く環境について調査することができる。 2) イノベーション、オープンイノベーションとは何かを説明できる。 3) バイオデザイン手法について説明できる。 4) 異分野の人とコミュニケーションについて注意すべき点を説明できる。 5) 産業界における製品開発の進め方を説明できる。 6) 知的財産権についての基本事項について説明できる。 7) 広告医学についての基本事項について説明できる。 8) テーマに応じた適切な発表方法について注意すべき点を説明できる。 9) 金融に関する基本事項について説明できる。 10) 研究と開発の違いについて説明できる。 11) 自分自身の(医療人としての)将来像を他者に理解できるように説明できる。 12) 医療とAI(人工知能)等の関係性を説明できる。 				

＜授業スケジュール＞

回	月日	テーマ・キーワード
1	4月8日	オリエンテーション 異分野とのコミュニケーション①
2	4月15日	リーダーシップ論
3	4月22日	人間中心設計とサービス共創
4	5月13日	医工連携と産学連携
5	5月20日	デザイン思考
6	5月27日	異分野とのコミュニケーション②
7	6月3日	医療現場の行動経済学
8	6月10日	ロボティクスを応用した医療ヘルスケア機器開発
9	6月17日	広告医学概論
10	6月24日	健康投資型の医療
11	7月1日	新薬開発における非臨床トランスレーショナル研究
12	7月8日	アントレプレナーシップ論
13	7月15日	滋賀県での医療イノベーションの現状と将来への期待
14	7月22日	グループワーク(4～5人/グループ)
15	7月29日	プレゼンテーション

＜教科書・参考書＞

1. 医療イノベーションの本質－破壊的創造の処方箋(碩学舎ビジネス双書) 著:クレイトン・M・クリステンセン他、訳:山本雄士他
(原著)The Innovator's Prescription: A Disruptive Solution for Health Care, Clayton M. Christensen et al.
2. BIODESIGN バイオデザイン日本語版(薬事日報社) 著:ステファノス・ゼニオス他、【監修】一般社団法人日本医療機器産業連合会他
(原著)Biodesign: The Process of Innovating Medical Technologies, Paul G. Yock et al.
3. リーン・スタートアップ ムダのない起業プロセスでイノベーションを生み出す(日経BP社) 著:エリック・リース 訳:井口耕二
(原著)The Lean Startup: How Today's Entrepreneurs Use Continuous Innovation to Create Radically Successful Businesses, Rric Ries

科目番号	7	科目名	おうみ学生未来塾(湖東)		
英文科目名	Field Work for Community Design in Ohmi				
大学・短期大学名	滋賀県立			大学	
連絡先	滋賀県立大学教務課				
	TEL :	0749-28-8216		FAX :	0749-28-8472
担当教員	上田 洋平		(地域共生センター 特任講師)		
実施方法	対面授業				
教室名	教室未定	会場	滋賀県立大学、県内各フィールド		
授業期間	9月7日(月)、9月8日(火)~14日(月)のうちいずれか1日、9月15日(火) <毎週 曜日> 時限・講時 : ~ :				
超過時の選考方法	書類選考				
成績評価方法	定期試験(筆記)				%
	レポート試験(期末)				%
	平常点(出席・授業態度)				%
	その他(グループワーク成果等)	100			%
別途負担費用	なし				
その他特記事項	※実習科目/フィールドトリップあり/欠席連絡必要				
<講義概要・到達目標>					
<p>地域本来の力や資源を活かした地域づくり・地域再生を実現するための考え方と手法を実践的に学ぶ。具体的な地域再生の事例を参考に、フィールドワークやワークショップの企画、実施、地域再生策の提案までの過程に主導的に取り組む。こうした実践を通して、フィールドワークやワークショップの技法、ファシリテーションの手法、地域課題の把握から解決策の提案までのノウハウを修得する。① 夏季3日間の集中講義として行う。② 学生、院生混成によるチームを編成し、フィールドワークやワークショップに臨む。③ 地域から提起されたホットでリアルなフィールドや課題に挑む。④ 地域の方々と共に歩き、考え、具体的な企画・提案を作成する。</p>					
<p>※2026年度は夏季集中講義期間中の以下の日程で開講する。 1日目:9月7日(月)、2日目:9月8日(火)~14日(月)のうちのいずれか1日(どの日になるかはフィールドワーク先ごとに異なる。フィールド別の日程は後日別途提示する)、3日目:9月15日(火)</p>					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	月 日	地域コミュニティの現状と課題-フィールドワーク対象地の紹介と目標設定			
2	月 日	レクチャー及びWS 地域再生「7箇条」			
3	月 日	事例報告「フィールドワークから地域再生へ」			
4	月 日	レクチャー「地域課題事業化のポイントとその事例」			
5	月 日	フィールドワークの設計			
6	月 日	フィールドワーク/WS(地域をあるく・みる・きく)①			
7	月 日	フィールドワーク/WS(地域をあるく・みる・きく)②			
8	月 日	フィールドワーク/WS(地域をあるく・みる・きく)③			
9	月 日	フィールドワーク/WS(地域をかたる・かんがえる)①			
10	月 日	フィールドワーク/WS(地域をかたる・かんがえる)②			
11	月 日	地域再生提案の作成①			
12	月 日	地域再生提案の作成②			
13	月 日	地域再生提案の作成③			
14	月 日	地域再生提案プレゼンテーションと講評			
15	月 日	特別レクチャー			
<教科書・参考書>					

科目番号	8	科目名	SDGsと滋賀のグローバル・イノベーション-近江の暮らしとなりわい-		
英文科目名	glocal-innovation for SDGs				
大学・短期大学名	滋賀県立			大学	
連絡先	滋賀県立大学教務課				
	TEL :	0749-28-8216	FAX :	0749-28-8472	
担当教員	上田 洋平		(地域共生センター 特任講師)		
実施方法	対面授業				
教室名	教室未定	会場	滋賀県立大学、ピアザ淡海(大津)		
授業期間	未定 <毎週 曜日> 時限・講時 : ~ :				
超過時の選考方法	書類選考				
成績評価方法	定期試験 (筆記)				%
	レポート試験 (期末)				%
	平常点 (出席・授業態度)				%
	その他 (ワークブック、ワークショップ成果等)	100			%
別途負担費用	なし				
その他特記事項	学外で授業を行う場合がある。詳細は別途指示。				
<講義概要・到達目標>					
滋賀県による事業とも連携し、最終日は大津の会場で開催する予定。					
当科目では、近江のくらしとなりわいの現場における様々なことなみを事例として、持続可能な共生社会の実現に必要な知見を導き出すとともに、SDGsの考え方に照らして、ローカルな現場の実践・課題と、グローバルな実践・課題とがどのように関わっているのか、その関わりによって、どんな未来(グローバル・イノベーション)が実現できるのかについて、様々なゲストと共に議論する。					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	月 日	SDGsと地域社会			
2	月 日	特別講義・SDGsと滋賀の挑戦:			
3	月 日	くらしとなりわいの現場から—山・里・湖の現状と課題①			
4	月 日	くらしとなりわいの現場から—山・里・湖の現状と課題②			
5	月 日	くらしとなりわいの現場から—山・里・湖の現状と課題③			
6	月 日	小さな地球を体験する—SDGsカードゲーム①			
7	月 日	小さな地球を体験する—SDGsカードゲーム②			
8	月 日	特別講義・グローバルイノベーション・企業の挑戦			
9	月 日	くらしとなりわいの現場から—企業の挑戦①			
10	月 日	くらしとなりわいの現場から—企業の挑戦②			
11	月 日	くらしとなりわいの現場から—コミュニティの再生と創造①			
12	月 日	くらしとなりわいの現場から—コミュニティの再生と創造②			
13	月 日	ワークショップ 新しい暮らしとなりわいをつくる①			
14	月 日	ワークショップ 新しい暮らしとなりわいをつくる②			
15	月 日	ワークショップ 新しい暮らしとなりわいをつくる③			
<教科書・参考書>					

科目番号	9	科目名	地域コミュニケーション論		
英文科目名	Communication Theory in Local Areas				
大学・短期大学名	滋賀県立			大学	
連絡先	滋賀県立大学教務課				
	TEL :	0749-28-8216	FAX :	0749-28-8472	
担当教員	上田 洋平			(地域共生センター 特任講師)	
実施方法	対面授業				
教室名	教室未定	会場	滋賀県立大学ほか		
授業期間	未定 <毎週 曜日> 時限・講時 : ~ :				
超過時の選考方法	書類選考				
成績評価方法	定期試験 (筆記)				%
	レポート試験 (期末)				%
	平常点 (出席・授業態度)				%
	その他 (ワークブック、ワークショップ成果等)	100			%
別途負担費用	なし				
その他特記事項	※地域で活躍する社会人(地域人)との対話を通じて学ぶ				
<講義概要・到達目標>					
コミュニケーションとは何だろうか。「自分の意見が言える」こと?「人の話が聞ける」こと?それとも「空気を読める」ことだろうか?					
当講義では「comm?nic?re(分かち合う、共有する)」というこの語の由来に立ち返り、コミュニケーションとは何か、また地域社会でコミュニケーション能力が重要視される背景等について概観した上で、産官学さまざまな立場・現場で活躍する地域人との対話や共同作業を通じて、リアルな地域課題を地域に関わる皆で分かち合い、その解決策を立案するための基礎能力を身に付けること、「浴びるように他者と出会い、対話し、作業する」3日間の過程を通して「コミュニケーションの基礎体力」を養うことを目指す。					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	月 日	オリエンテーション・自分探求			
2	月 日	レクチャー「コミュニケーションの概要と特性」			
3	月 日	レクチャー&演習「グラレコ基礎・グラレコの技法」			
4	月 日	学生×学生ワークショップ:「人生2合目からのながめ」			
5	月 日	まとめ・レポート作成			
6	月 日	学生×学生ダイアログ&相互紹介記事作成			
7	月 日	特別講義:講師未定			
8	月 日	学生×地域人ダイアログ			
9	月 日	学生×地域人ダイアログ			
10	月 日	まとめ・レポート作成			
11	月 日	特別講義:講師未定			
12	月 日	学生×地域人ダイアログ「明日も好い転機のための7箇条」			
13	月 日	学生×地域人ダイアログ「明日も好い転機のための7箇条」			
14	月 日	まとめ			
15	月 日	レポート作成			
<教科書・参考書>					

科目番号	10	科目名	びわこ環境行政論	
英文科目名	Environmental Administration in Shiga			
大学・短期大学名	滋賀県立		大学	
連絡先	滋賀県立大学教務課			
	TEL :	0749-28-8216	FAX :	0749-28-8472
担当教員	堀 啓子 (環境科 学部 講師)			
実施方法	対面授業			
教室名	教室未定	会場		
授業期間	2026年9月28日(月)～2027年2月1日(月) <毎週月曜日> 4 時限・講時 14 : 50 ~ 16 : 20			
超過時の選考方法	書類選考			
成績評価方法	定期試験(筆記)	0 %		
	レポート試験(期末)	25 %		
	平常点(出席・授業態度)	0 %		
	その他(出席を前提とした毎回の小テスト)	75 %		
別途負担費用	なし			
その他特記事項	ゲスト講師の都合により、講義の順序が入れ替わることがある。また講義のうち1回は出席なしのレポート課題を課す。			
<講義概要・到達目標>				
地方自治体の政策は、開発と保全の両方から地域環境に大きな影響を及ぼす。滋賀県をフィールドに各分野の政策立案にかかわる行政担当者の講義を通じて、地域環境政策の課題を学び、琵琶湖という環境資産をもつ地域の持続可能な発展への政策とその実施について考える。				
(到達目標)				
(1)滋賀県の現行の各種環境政策を説明できる。				
(2)滋賀県の環境政策の変遷を説明できる。				
(3)持続可能な滋賀社会のビジョンについて自らの考えを述べることができる。				
(4)持続可能な滋賀社会を実現する政策について自らの考えを述べることができる。				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	9月28日	環境問題の変遷と環境行政		
2	10月5日	今日の環境行政の課題		
3	10月12日	琵琶湖の総合保全の取り組み		*祝日授業日
4	10月19日	びわ湖の現状と課題(生態環境)		
5	10月26日	びわ湖の現状と課題(水質環境)		
6	11月9日	自然環境保全政策の現状と課題		
7	11月16日	環境共生をめざす農業政策		
8	11月23日	環境共生をめざす森林政策		*祝日授業日
9	11月30日	水環境保全政策の現状と課題		
10	12月7日	資源循環政策の現状と課題		
11	12月14日	循環型社会の産業政策		
12	12月21日	地球温暖化対策の現状と課題		
13	1月18日	低酸素社会実現のための政策		
14	1月25日	持続可能な滋賀社会のイメージ		
15	2月1日	持続可能な社会と環境政策		
<教科書・参考書>				

科目番号	11	科目名	地域産業・企業から学ぶ社長講義		
英 文 科 目 名	President Lecture to Learn Industry of Shiga and Carrier Design				
大学・短期大学名	滋賀県立			大学	
連 絡 先	滋賀県立大学教務課				
	TEL :	0749-28-8216	FAX :	0749-28-8472	
担 当 教 員	安田 寿彦			(全学共通教育推進機構 特任教授)	
実 施 方 法	対面授業				
教 室 名	教室未定		会場		
授 業 期 間	2026 年 9 月 28 日 (月) ~ 2027 年 2 月 1 日 (月) <毎週 月曜日> 4 時限・講時 14 : 50 ~ 16 : 20				
超過時の選考方法	書類選考				
成績評価方法	定期試験 (筆記)		0	%	
	レポート試験 (期末)		0	%	
	平常点 (出席・授業態度)		50	%	
	その他 (毎週の課題)		50	%	
別途負担費用	なし				
その他特記事項	ゲスト講師の都合により、講義の順序や企業が入れ替わることがある。				
<講義概要・到達目標>					
<p>滋賀県の産業・経済の特徴を行政の視点で理解し、地元の産業構造や地元産業界、地域企業の特徴や課題を学ぶ。さらに、滋賀県の代表企業等のトップに、企業の活動、およびこれから社会人になる学生に期待される能力などについて語っていただき、自分のキャリアについて考える。毎回、講義に関する課題レポートを提出する。講義に関する質疑を講義終了直後に行い、さらに、後日も質問を受け付け、回答を講義サイトに掲示する。</p> <p>到達目標：(1)滋賀県の経済・産業の特徴を理解できる。(2)情報の整理力と理解力(各講義内容を系統づけて理解できる。)(3)課題発見力(講義内容から重要な情報を整理し、自己のキャリアに繋げる課題を発見できる。)(4)コミュニケーション力(講義中の質疑応答、ディスカッションができる。)</p>					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	9 月 28 日	本講義の目的、概要について、キャリアデザインについて			
2	10 月 5 日	行政から見た滋賀県の地域産業の課題とその解決策について			
3	10 月 12 日	金融経済の視点から見たキャリアデザイン			
4	10 月 19 日	大津市から代表企業(企業の概要・特徴・学生へのメッセージ)			
5	10 月 26 日	彦根市から代表企業(企業の概要・特徴・学生へのメッセージ)			
6	11 月 9 日	甲賀市から代表企業(企業の概要・特徴・学生へのメッセージ)			
7	11 月 16 日	湖南市から代表企業(企業の概要・特徴・学生へのメッセージ)			
8	11 月 23 日	野洲市から代表企業(企業の概要・特徴・学生へのメッセージ)			
9	11 月 30 日	栗東市から代表企業(企業の概要・特徴・学生へのメッセージ)			
10	12 月 7 日	近江八幡市から代表企業(企業の概要・特徴・学生へのメッセージ)			
11	12 月 14 日	米原市から代表企業(企業の概要・特徴・学生へのメッセージ)			
12	12 月 21 日	野洲市から代表企業(企業の概要・特徴・学生へのメッセージ)			
13	1 月 18 日	大津市から代表企業(企業の概要・特徴・学生へのメッセージ)			
14	1 月 25 日	彦根市から代表企業(企業の概要・特徴・学生へのメッセージ)			
15	2 月 1 日	企業・団体の人事担当者から学ぶ			
<教科書・参考書>					
毎回、講義資料を配布します。					

科目番号	12	科目名	近江学入門	
英文科目名	Introduction to the Study of Oumi (The Old Name of Shiga)			
大学・短期大学名	滋賀短期		大学	
連絡先	滋賀短期大学 教務課			
	TEL :	077-524-3638	FAX :	077-523-5124
担当教員	秋山 元秀		(学部 学長)	
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名	121教室	会場	滋賀短期大学	
授業期間	2026年4月9日(木)～2026年7月16日(木) <毎週木曜日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 30			
超過時の選考方法				
成績評価方法	定期試験(筆記)			%
	レポート試験(期末)		20	%
	平常点(出席・授業態度)		40	%
	その他(小テスト)		40	%
別途負担費用	なし		あり()円	
その他特記事項				
<講義概要・到達目標>				
【講義概要】				
近江は「道の国」「商人(あきんど)の町」「魚米の郷」という3つの面から、その特色を説明できる。すなわち古代に生まれた東海道、東山道(のちの中山道)、北陸道という全国レベルの幹線路が縦横に走り、その交通が国の基盤を作った。そしてこの交通を利用した商業活動が盛んになり、全国を舞台に近江出身の商人が活躍した。かれらは故郷の地域発展に貢献した。琵琶湖を中心にした広い平野をもつ近江は、豊かな農業生産によって米どころとなり、琵琶湖と周辺河川の水産業とあいまって、生活基盤となる農村をつくりあげた。授業では、この3つのテーマをいろいろなエピソードをとりあげて、近江の歴史や地理をあまり知らない人でもわかりやすいように話していく。授業ではアクティブラーニングの手法を取り入れ、積極的な発言や討論ができるようにする。				
【到達目標】				
・大学の所在する滋賀県について親しみをもち、滋賀県のことに関心をもつことができるようになる。 ・近江の歴史的特徴と、そこではぐまれた多様な地域文化を知り、それが現在の滋賀県の基盤になっていることが理解できるようになる。 ・その上で、自分がよく知っている身近な地域が、滋賀県内でどのような位置を占めるか説明できるようになる。				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	4月9日	オウミ(近江・淡海)とはどんな意味?シガ(滋賀・志賀)とは?滋賀は全国的にはあまり知られていない。なぜ?		
2	4月16日	近江の歴史をざっと知ろう。隣の京都や福井の歴史とも関連しているだろうか?		
3	4月23日	道の国近江とは?近江を通っている街道について知ろう		
4	4月30日	東海道と中山道、その宿場、どんな町がある?どこまで行ける?		
5	5月7日	街道を通っていた人たちはどんな人?何をするために通っていた?		
6	5月14日	そこで出てくるのが近江商人。近江商人とはどんな人たち?		
7	5月21日	江州米というのはなぜ?近江の農業は、その他の産業は?		
8	5月28日	フナずしを食べたことありますか?そのほかに滋賀特有の食材や料理には何がある。		
9	6月4日	これから近江の各地を訪問してみよう。まず大津。大津はどんな町?		
10	6月11日	次に草津や守山など、湖南地域の町や村は?		
11	6月18日	湖西の町、坂本・堅田などへ行ったことがありますか?高島までは?		
12	6月25日	東の方へ行ってみよう。国宝彦根城を見たことありますか?彦根は城下町、ほかに城下町はある?		
13	7月2日	湖北へ行ったらまず長浜。長浜では何を見ればいいのか?		
14	7月9日	ちょっと奥まったところ甲賀。忍者の故郷?信楽焼はなぜたぬき?		
15	7月16日	ざっと見てきたけれど、皆さんの滋賀でおすすめはどこ?滋賀の魅力は何だろう。		
<教科書・参考書>				
【教科書】なし				
【参考書】授業中紹介する				

科目番号	13	科目名	地域ビジネス論		
英文科目名	Studies of Community Planning				
大学・短期大学名	滋賀短期			大学	
連絡先	滋賀短期大学 教務課				
	TEL :	077-524-3638	FAX :	077-523-5124	
担当教員	江見 和明			(デジタルライフビジネス 学科 教授)	
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用		
教室名	324教室	会場	滋賀短期大学		
授業期間	2026年9月25日(金)～2027年1月22日(金) <毎週金曜日> 3 時限・講時 13 : 00 ~ 14 : 30				
超過時の選考方法					
成績評価方法	定期試験(筆記)			50	%
	レポート試験(期末)			20	%
	平常点(出席・授業態度)			30	%
	その他(発表)				%
別途負担費用	なし			あり()円	
その他特記事項					
<講義概要・到達目標>					
【講義概要】 本講義では、コミュニティ・ビジネスや社会的企業といった、地域社会が抱える問題をビジネスを通して解決するという企業のあり方について学ぶ。実際に地域のために頑張っている起業家の方に講演していただく。そして、それをヒントに皆さんに実際にコミュニティ・ビジネスのビジネスアイデアを考え、レポートにまとめてもらう(アクティブラーニング)。					
【到達目標】 ・コミュニティ・ビジネスや社会的企業という社会が抱える問題・課題を解決することを目的とした企業のあり方について理解できるようになる。 ・ベンチャー企業の支援、起業家の育成の重要性について理解できるようになる。 ・ビジネス・プラン作成のポイントについて理解できるようになる。					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	9月25日	オリエンテーション 地域とのつながりを考える			
2	10月2日	対話もたらすコミュニティの進化 内省的ダイアログと生成的ダイアログ			
3	10月9日	地域の魅力を再発見する			
4	10月16日	コミュニティビジネスとソーシャルビジネスについて			
5	10月23日	コミュニティビジネス・ソーシャルビジネスからはじまるソーシャルイノベーション			
6	10月30日	地域の抱える問題と地域活性化への取り組み			
7	11月13日	コミュニティビジネス事例研究① 人と人を結びつける仕事			
8	11月20日	コミュニティビジネス事例研究② キッチンカービジネス			
9	11月27日	コミュニティビジネス事例研究③ 超高齢社会における公共交通について			
10	12月4日	ビジネスアイデアの発想法 ビジネスプランの事例			
11	12月11日	ビジネスプランのポイント① 自分の強み、地域資源を活かす			
12	12月18日	ビジネスプラン作成のポイント② 自分の価値観・理念を明確にする			
13	1月8日	ビジネスプラン作成のポイント③ 顧客に価値を提供する事業の仕組みを考える			
14	1月15日	コミュニティビジネスプランの作成 中間発表 フィードバック			
15	1月22日	コミュニティビジネスプラン、プレゼンテーション			
<教科書・参考書>					
【教科書】なし					
【参考書】なし					

科目番号	14	科目名	地域の歴史と民俗文化		
英文科目名					
大学・短期大学名	滋賀文教短期			大学	
連絡先	滋賀文教短期大学 学務課 教務係				
	TEL :	0749-63-5815	FAX :	0749-65-1921	
担当教員	中島 誠一			(国文学科 学部 非常勤講師)	
実施方法	対面授業		遠隔授業		対面・遠隔併用
教室名	松翠館3階 大講義室	会場	滋賀文教短期大学		
授業期間	2026年4月10日(金)～2026年7月24日(金) <毎週金曜日> 2 時限・講時 10 : 45 ~ 12 : 15				
超過時の選考方法					
成績評価方法	定期試験(筆記)	50		%	
	レポート試験(期末)			%	
	平常点(出席・授業態度)	20		%	
	その他(小テスト)	30		%	
別途負担費用	なし		あり()円		
その他特記事項	<p><授業形態>授業の都合により、対面授業が遠隔授業に切り替わる可能性があります。 <欠席連絡>欠席連絡については、滋賀文教短期大学 学務課教務係(0749-63-5815)までご連絡ください。 <その他>授業の理解度を確保するために小テストを、身についた力を確認するために期末テストを行います。小テストの結果は講義中に講評します。</p>				
<講義概要・到達目標>					
【授業概要】					
<p>初めに湖北地域のシビックプライドが歴史と民俗によって育まれていることを説明する。そして大学の立地する田村地域を中心に現地踏査をおこない、身近にある歴史的文化遺産を具体的に教える。次に学習の範囲を、湖北全域に拡大し、PPT・DVDによる視聴をまじえ、人々が継承してきた種々の生活文化を紹介する。小テストで学習進捗状態を確認ののち、羽柴秀吉による長浜城下町形成と今も人々のあいだに脈々と流れる進取の機運が生み出した数々の有形、無形の文化財(建造物・職人の技など)について教える。湖北地域の豊かな歴史民俗文化遺産を多方面から体験し、学び、生涯の指針となるよう授業を進める。</p>					
【到達目標】					
<p>1.人々の暮らしの中に息づく祭りや、特徴ある習俗に目を向け、地域の個性について理解する力を身に付け応用できる。</p> <p>2.湖北地域の歴史遺産が人々の生活に欠くことのできないものであることを、学習を通じて体得することによって自分の住む地域の様々な問題、課題について解決能力を身に付けることができる→期末テストによって自身の習得結果を確認することができる。</p>					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	4月10日	湖北の歴史文化遺産PPTガイダンス。年間の学習内容説明。			
2	4月17日	田村の歴史文化遺産―田村山登山&村の中を歩いて考える―(フィールドワーク)			
3	4月24日	ユネスコ無形文化遺産―長浜曳山祭の行事内容について学ぶ―			
4	5月8日	曳山文化の伝播―湖北を中心とした曳山祭の関連性について考える―			
5	5月15日	湖北地域の雨ごい信仰の多様性―竜神信仰と太鼓踊りの関連を知る―			
6	5月22日	近江で行われた雨ごい行事―竜神信仰と太鼓踊りの関連を学ぶ―			
7	5月29日	湖北のおコナイ行事―なぜこの行事は根付いているのか考える―			
8	6月5日	1～7回までの学習について振り返り、自分の進捗度を測る―小テスト―			
9	6月12日	湖北の村の暮らし―長浜市西浅井町月出一過疎化と郷土愛			
10	6月19日	湖北の村の暮らし―長浜市西浅井町菅浦―伝統と村の組織			
11	6月26日	発展する明治の長浜―大商人たちの活躍―現在の長浜との関連			
12	7月3日	長浜の食事―祭りと日常― 鯖素麺、講汁、鮎鮓			

13	7月10日	長浜の諸職—鍛冶屋、鼻緒、竹細工、提灯
14	7月17日	長浜の諸職—長浜仏壇と曳山修理
15	7月24日	歴史と民俗文化について振り返る
<p><教科書・参考書></p> <p>【教科書】特にないが、授業の都度、新聞記事やSNSからの各種情報をテキストとして配布するので講義のNo.日付をつけて整理しておくことが大事。まとめれば湖北を知る事典として活用できるはずである。</p> <p>【参考書】『川道のオコナイ 湖北に春を呼ぶ—俵鏡餅—』中島誠一 サンライズ出版 2011、『近江の祭りを歩く』中島誠一 サンライズ出版 2012 長浜城歴史博物館特別展図録『近江のオコナイ』『山車・屋台・曳山』『手仕事を伝える』『神になった秀吉』など</p>		

科目番号	15	科目名	近江学B	
英文科目名				
大学・短期大学名	成安造形		大学	
連絡先	滋賀県大津市仰木の里東4-3-1			
	TEL :	077-574-2113	FAX :	077-574-2120
担当教員	加藤賢治 (芸術 学部 教授)			
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名	未定	会場		
授業期間	2026年9月1日(火)～2026年9月4日(金) <毎週 曜日> 時限・講時 : ~ :			
超過時の選考方法				
成績評価方法	定期試験(筆記)	50	%	
	レポート試験(期末)	30	%	
	平常点(出席・授業態度)	20	%	
	その他()		%	
別途負担費用	集合場所までの交通費(金額は各自で異なる)、入館料等(1000円程度)が必要			
その他特記事項	事前にフィールドワークを行う地域について調べておくこと 授業1コマにつき事前100分、事後100分の学習が必要です			
<講義概要・到達目標>				
<p>【講義概要】成安造形大学が位置する近江(滋賀県)は中央に位置する琵琶湖とそれを囲むように連なる美しい山々という恵まれた自然環境を有するフィールドです。それだけでなく、古代から文化が形成されてきたために、多くの文化遺産を保有し、その伝統を今に伝えています。この科目は、本学近くにある大津市の中心市街地をフィールドワークしながら、地域の人々との交流の中で、地域文化を体感します。このように、伝統的な風習を残す地域を積極的に検証することで、21世紀に息づく普遍的な価値観を身につけ、自らの作品制作や未来の生活に活かすことを目的とします。※この科目は、一般社団法人環びわ湖大学・地域コンソーシアム「おうみ学生未来塾」の提供科目となっています。コンソーシアム加盟大学の学生が履修し、他大学の学生との交流も深まります。</p> <p>【この授業は、ハイブリッド(対面と遠隔の併用)で実施します。】【到達目標】先人の知恵をたどり、今に伝えられる大切な事象を捉えて今に活かすことができるとこの地域においても活かすことのできる普遍的な価値観を身につけることができるグループワーク・ディスカッションを通じてまとめる力や発表する力を身につけることができる</p>				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	月 日	ガイダンス フィールドワークの概要と目的		
2	月 日	フィールドワーク「大津の中心市街地①」三井寺の見学		
3	月 日	フィールドワーク「大津の中心市街地①」三井寺の見学		
4	月 日	フィールドワーク「大津の中心市街地①」長等神社、大津絵の店等の見学		
5	月 日	フィールドワーク「大津の中心市街地①」ながらの座座の見学		
6	月 日	フィールドワーク「大津の中心市街地②」大津中心市街地の見学		
7	月 日	フィールドワーク「大津の中心市街地②」大津別院の見学		
8	月 日	フィールドワーク「大津の中心市街地②」大津祭曳山展示館の見学		
9	月 日	フィールドワーク「大津の中心市街地②」丸屋町自治会館見学の見学		
10	月 日	フィールドワーク「大津の中心市街地②」まとめのグループディスカッション		
11	月 日	グループディスカッション 歴史文化資源を活かした持続可能な地域活性化について(本学)		
12	月 日	グループディスカッション 歴史文化資源を活かした持続可能な地域活性化について(本学)		
13	月 日	成果発表会 フィールドワークを通して得たもの感じたものを発表する(本学)		
14	月 日	成果発表会 フィールドワークを通して得たもの感じたものを発表する(本学)		
15	月 日			
<教科書・参考書>				
適宜プリントを配付				

科目番号	16	科目名	東洋・日本美術史概説A		
英 文 科 目 名					
大学・短期大学名	成安造形			大学	
連 絡 先	滋賀県大津市仰木の里東4-3-1				
	TEL :	077-574-2113	FAX :	077-574-2120	
担 当 教 員	小 寄 善 通			(芸 術 学 部 教 授)	
実 施 方 法	対面授業		遠隔授業	対面・遠隔併用	
教 室 名	未定		会場		
授 業 期 間	2026 年 4 月 21 日 (火) ~ 2026 年 7 月 28 日 (火) <毎週 火 曜 日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 40				
超過時の選考方法					
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)		100	%	
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)		0	%	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		0	%	
	そ の 他 ()			%	
別 途 負 担 費 用	なし		あり()円		
そ の 他 特 記 事 項	授業でのスライドで満足せず、展覧会に出かけて実物を鑑賞すること。下記参考図書や授業中に紹介した参考図書を用いて事前事後学習をすること。(合計200分×14回)				
<講義概要・到達目標>					
【講義概要】東洋・日本美術史の基礎知識を、分野別にスライドを用いて解説します。また、開催されている展覧会の情報や見どころも紹介します。様々な作品を知ることは、自分を知ることにつながります。今後の自らの作品制作の方向性を決める手がかりにしてほしいと考えています。					
【この授業は、すべて対面で実施します。】【到達目標】各時代の日本美術の名品を通して、日本美術の流れを知ることができる制作の手がかりとなる作品に出会える様々な美術品を知ること、美術品の見方を身につけることができる					
<授業スケジュール>					
回	月 日	テーマ・キーワード			
1	4 月 21 日	日本美術史の枠組み・仏像の基礎			
2	4 月 28 日	日本彫刻史(1)			
3	5 月 12 日	日本彫刻史(2)			
4	5 月 19 日	日本彫刻史(3)			
5	5 月 26 日	陶芸史(中国・日本)			
6	6 月 2 日	日本絵画史(1)			
7	6 月 9 日	日本絵画史(2)			
8	6 月 16 日	日本絵画史(3)			
9	6 月 23 日	日本絵画史(4)			
10	6 月 30 日	日本絵画史(5)			
11	7 月 7 日	日本絵画史(6)			
12	7 月 14 日	日本絵画史(7)			
13	7 月 21 日	日本絵画史(8)			
14	7 月 28 日	日本絵画史(9)			
15	月 日				
<教科書・参考書>					
参考図書:『日本美術館』小学館					

科目番号	17	科目名	東洋・日本美術史概説B		
英 文 科 目 名					
大学・短期大学名	成安造形			大学	
連 絡 先	滋賀県大津市仰木の里東4-3-1				
	TEL :	077-574-2113	FAX :	077-574-2120	
担 当 教 員	小 寄 善 通			(芸 術 学 部 教 授)	
実 施 方 法	対面授業		遠隔授業	対面・遠隔併用	
教 室 名	未定	会場			
授 業 期 間	2026 年 9 月 29 日 (火) ~ 2027 年 1 月 12 日 (火) <毎週 火 曜 日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 40				
超過時の選考方法					
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)			100	%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)			0	%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)			0	%
	そ の 他 ()				%
別 途 負 担 費 用	なし		あり()円		
そ の 他 特 記 事 項	展覧会に行き、実物を鑑賞すること。下記参考図書を用いて事前事後学習すること。(合計200分×14回)				
<講義概要・到達目標>					
【講義概要】美術・芸術という概念や制度が西洋からもたらされた明治時代以降、日本美術は急速かつ広範な変化、展開を遂げてゆきます。洋画に対する概念として日本画ということばが生まれたのも明治時代に入ってからです。この講義では、日本画、洋画、彫刻など日本美術の近代化の歩みをたどっていきます。 【この授業は、すべて対面で実施します。】【到達目標】明治時代以降、昭和時代初めまでの日本美術の流れが理解できる日本人が西洋から何を学んだかを知ることができる作家が作品制作に際して、何から影響を受けたかを知ることができる					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	9 月 29 日	桃山・江戸時代前期の洋風画			
2	10 月 6 日	江戸時代後期の洋風画(江戸、長崎、秋田)			
3	10 月 13 日	幕末から明治初期の洋画			
4	10 月 20 日	美術教育の始まり(1)			
5	10 月 27 日	美術教育の始まり(2)			
6	11 月 3 日	明治時代の日本画(東京)			
7	11 月 10 日	明治時代の日本画(京都)			
8	11 月 17 日	明治時代の洋画			
9	11 月 24 日	近代の彫刻			
10	12 月 1 日	大正・昭和初期の日本画(東京)			
11	12 月 8 日	大正・昭和初期の日本画(京都)			
12	12 月 15 日	画家の作風展開を見る(上村松園・福田平八郎)			
13	12 月 22 日	大正時代の洋画			
14	1 月 12 日	昭和初期の洋画			
15	月 日				
<教科書・参考書>					
参考図書:『日本美術館』小学館、『日本美術の流れ6』高階 秀爾 岩波書店					

科目番号	18	科目名	西洋美術史概説A																																																	
英文科目名																																																				
大学・短期大学名	成安造形		大学																																																	
連絡先	滋賀県大津市仰木の里東4-3-1																																																			
	TEL :	077-574-2113	FAX :	077-574-2120																																																
担当教員	中谷 至宏		(芸術 学部 教授)																																																	
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用																																																	
教室名	未定	会場																																																		
授業期間	2026年4月15日(水)～2026年7月29日(水) <毎週水曜日> 1 時限・講時 9:00～10:40																																																			
超過時の選考方法																																																				
成績評価方法	定期試験(筆記)	20	%																																																	
	レポート試験(期末)	80	%																																																	
	平常点(出席・授業態度)	0	%																																																	
	その他()		%																																																	
別途負担費用	なし	あり()円																																																		
その他特記事項	授業で提示するミュージアムのホームページ等で作品画像や内容を確認する。																																																			
<p><講義概要・到達目標> 【講義概要】ギリシャ美術から18世紀までの西洋美術史を主要作品を通して概観する。【この授業は、すべて対面で実施します。】【到達目標】古代から18世紀までの西洋美術史の流れを理解する。古代から18世紀までの代表的な芸術家とその作品を知る。時代に固有な様式を理解する。</p>																																																				
<p><授業スケジュール></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>月日</th> <th>テーマ・キーワード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>4月15日</td><td>イントロダクション+ギリシャ1</td></tr> <tr><td>2</td><td>4月22日</td><td>ギリシャ2</td></tr> <tr><td>3</td><td>5月13日</td><td>ローマ1</td></tr> <tr><td>4</td><td>5月20日</td><td>ローマ2</td></tr> <tr><td>5</td><td>5月27日</td><td>ビザンチン</td></tr> <tr><td>6</td><td>6月3日</td><td>ロマネスク</td></tr> <tr><td>7</td><td>6月10日</td><td>ゴシック1</td></tr> <tr><td>8</td><td>6月17日</td><td>ゴシック2</td></tr> <tr><td>9</td><td>6月24日</td><td>イタリア・ルネサンス1</td></tr> <tr><td>10</td><td>7月1日</td><td>イタリア・ルネサンス2</td></tr> <tr><td>11</td><td>7月8日</td><td>北方ルネサンス</td></tr> <tr><td>12</td><td>7月15日</td><td>バロック1 フランス/スペイン</td></tr> <tr><td>13</td><td>7月22日</td><td>バロック2 フランドル/オランダ</td></tr> <tr><td>14</td><td>7月29日</td><td>ロココ</td></tr> <tr><td>15</td><td>月 日</td><td></td></tr> </tbody> </table>					回	月日	テーマ・キーワード	1	4月15日	イントロダクション+ギリシャ1	2	4月22日	ギリシャ2	3	5月13日	ローマ1	4	5月20日	ローマ2	5	5月27日	ビザンチン	6	6月3日	ロマネスク	7	6月10日	ゴシック1	8	6月17日	ゴシック2	9	6月24日	イタリア・ルネサンス1	10	7月1日	イタリア・ルネサンス2	11	7月8日	北方ルネサンス	12	7月15日	バロック1 フランス/スペイン	13	7月22日	バロック2 フランドル/オランダ	14	7月29日	ロココ	15	月 日	
回	月日	テーマ・キーワード																																																		
1	4月15日	イントロダクション+ギリシャ1																																																		
2	4月22日	ギリシャ2																																																		
3	5月13日	ローマ1																																																		
4	5月20日	ローマ2																																																		
5	5月27日	ビザンチン																																																		
6	6月3日	ロマネスク																																																		
7	6月10日	ゴシック1																																																		
8	6月17日	ゴシック2																																																		
9	6月24日	イタリア・ルネサンス1																																																		
10	7月1日	イタリア・ルネサンス2																																																		
11	7月8日	北方ルネサンス																																																		
12	7月15日	バロック1 フランス/スペイン																																																		
13	7月22日	バロック2 フランドル/オランダ																																																		
14	7月29日	ロココ																																																		
15	月 日																																																			
<p><教科書・参考書> 授業内で適宜提示</p>																																																				

科目番号	19	科目名	西洋美術史概説B	
英文科目名				
大学・短期大学名	成安造形		大学	
連絡先	滋賀県大津市仰木の里東4-3-1			
	TEL :	077-574-2113	FAX :	077-574-2120
担当教員	中谷 至宏		(芸術 学部 教授)	
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名	未定	会場		
授業期間	2026年9月30日(水)～2027年1月13日(水) <毎週水曜日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 40			
超過時の選考方法				
成績評価方法	定期試験(筆記)	20	%	
	レポート試験(期末)	80	%	
	平常点(出席・授業態度)	0	%	
	その他()		%	
別途負担費用	なし		あり()円	
その他特記事項	授業で提示するミュージアムのホームページ等で作品画像や内容を確認する。			
<講義概要・到達目標>				
【講義概要】19世紀から20世紀初頭までの西洋美術史を主要作品を通して概観する。【この授業は、すべて対面で実施します。】【到達目標】19世紀から20世紀前半までの西洋美術史の流れを理解する。19世紀から20世紀前半までの代表的な芸術家とその作品を知る。時代および作家に固有な様式を理解する。				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	9月30日	イントロダクション+近代絵画とは		
2	10月7日	新古典主義		
3	10月14日	ロマン主義		
4	10月21日	レアリズム		
5	10月28日	印象派1		
6	11月4日	印象派2		
7	11月11日	新印象主義		
8	11月18日	ポスト印象主義		
9	11月25日	象徴主義・世紀末美術		
10	12月2日	フォービズム		
11	12月9日	表現主義		
12	12月16日	キュビズム+未来派		
13	12月23日	抽象絵画+構成主義		
14	1月13日	シュルレアリスム		
15	月 日			
<教科書・参考書>				
授業内で適宜提示。				

科目番号	20	科目名	デザイン史概説A	
英文科目名				
大学・短期大学名	成安造形		大学	
連絡先	滋賀県大津市仰木の里東4-3-1			
	TEL :	077-574-2113	FAX :	077-574-2120
担当教員	平井 直子 / 櫻間 裕子 (芸術 学部 非常勤講師)			
実施方法	対面授業		遠隔授業	対面・遠隔併用
教室名	未定	会場		
授業期間	2026年4月16日(木) ~ 2026年7月23日(木) <毎週木曜日> 1 時限・講時 9:00 ~ 10:40			
超過時の選考方法				
成績評価方法	定期試験(筆記)	30	%	
	レポート試験(期末)	70	%	
	平常点(出席・授業態度)	0	%	
	その他()		%	
別途負担費用	なし		あり()円	
その他特記事項	18世紀から19世紀にかけてのヨーロッパの歴史について、概観しておくこと。[約200分]			
<講義概要・到達目標>				
<p>【講義概要】18世紀から19世紀にかけての産業革命は、人びとの生活を激変させた。特に、生活に用いる、様々な道具やモノ、或いは環境を形成するものづくりの現場は、大きな影響を受けた。それ以前には職人の手で一つひとつが手工作で制作されていたものが、機械によって一度に大量に生産されるようになったのである。この講義では、ものづくりの現場への機械の導入をめぐる、様々な工芸家やデザイナーの苦闘の跡を探っていく。そのことを通して、近代デザインの考え方の基礎の成立について知ることを目的とする。</p> <p>【この授業は、全て、対面で実施します。】【到達目標】歴史という概念の相対性について考えることができるデザインと社会の関係について考えることができる機械によるモノ作りとしてのデザインについて考えることができる</p>				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	4月16日	歴史とはなにか、デザインとはなにか【4月16日】		
2	4月23日	デザイン史と美術史【4月23日】		
3	5月7日	産業革命とものづくり【5月7日】		
4	5月14日	イギリス社会の階層性【5月14日】		
5	5月21日	アルバート公とヘンリー・コールのデザイン改革【5月21日】		
6	5月28日	1851年の万国博覧会【5月28日】		
7	6月4日	ウィリアム・モリスの活動の概要【6月4日】		
8	6月11日	ウィリアム・モリスのデザイン思考の革新性 1回目【6月11日】		
9	6月18日	ウィリアム・モリスのデザイン思考の革新性 2回目【6月18日】		
10	6月25日	美術工芸運動【6月25日】		
11	7月2日	アール・ヌーヴォーの概要とデザイン史上の意味【7月2日】		
12	7月9日	フランスとベルギーのアール・ヌーヴォー【7月9日】		
13	7月16日	スコットランド、カタロニア、オーストリア、イタリアのアール・ヌーヴォー【7月16日】		
14	7月23日	【7月23日】授業内テスト		
15	月 日			
<教科書・参考書>				
授業の進行に応じて指示します。				

科目番号	21	科目名	デザイン史概説B	
英文科目名				
大学・短期大学名	成安造形		大学	
連絡先	滋賀県大津市仰木の里東4-3-1			
	TEL :	077-574-2113	FAX :	077-574-2120
担当教員	平井 直子／櫻間 裕子 (芸術 学部 非常勤講師)			
実施方法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教室名	未定	会場		
授業期間	2026年10月1日(木)～2027年1月14日(木) <毎週木曜日> 1 時限・講時 9:00～10:40			
超過時の選考方法				
成績評価方法	定期試験(筆記)	30	%	
	レポート試験(期末)	70	%	
	平常点(出席・授業態度)	0	%	
	その他()		%	
別途負担費用	なし		あり()円	
その他特記事項	第1次世界大戦前後のヨーロッパの歴史について復習しておいてください。[約200分]			
<講義概要・到達目標>				
【講義概要】19世紀の末から20世紀の初頭にかけて、ものづくりの現場への機会の導入はさらに進んだが、先進的なデザイナーたちの様々な努力にもかかわらず、機械を使いこなすための確固たる方法論は未だ見出されていなかった。この授業では、アメリカの建築、ドイツ工作連盟、抽象絵画の成立、オランダのデ・ステイル、フランスやイタリアのデザイン、バウハウス、そして北欧のデザインを取り上げ、モダンデザインの成立について考えることを目的としている。				
【この授業は、全て、対面で実施します。】【到達目標】デザインと社会の関係について考えることができる近代から現代に至る文化の変遷や、社会とアートの関係性を理解し、今後の学びに活かすモダン・デザインの成立について考えることができる				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	10月1日	ウィーン工房のデザイン【10月1日】		
2	10月8日	高層建築の起源【10月8日】		
3	10月15日	シカゴの建築【10月15日】		
4	10月22日	フランク・ロイド・ライトの建築【10月22日】		
5	10月29日	ドイツ工作連盟【10月29日】		
6	11月5日	絵画におけるリアリズムの意味、印象派へ【11月5日】		
7	11月12日	印象派と立体派、幾何学的抽象絵画の成立【11月12日】		
8	11月19日	デ・ステイル【11月19日】		
9	11月26日	20世紀前半のフランスデザイン【11月26日】		
10	12月3日	20世紀前半のイタリアデザイン【12月3日】		
11	12月10日	バウハウスの成立の背景【12月10日】		
12	12月17日	北欧デザイン【12月17日】		
13	12月24日	ヨーロッパにおけるモダンデザインの成立と意義【12月24日】		
14	1月14日	授業内テスト【1月14日】		
15	月 日			
<教科書・参考書>				
授業の進行に応じて紹介します。				

科目番号	22	科目名	ペアレンティング論		
英文科目名					
大学・短期大学名	聖泉			大学	
連絡先	滋賀県彦根市肥田町720				
	TEL : 0749-43-7510		FAX : 0749-43-5210		
担当教員	平田 美紀 (看護学部教授)				
実施方法	対面授業		遠隔授業		対面・遠隔併用
教室名	352	会場	聖泉大学		
授業期間	2026年6月5日(金)～2026年7月17日(金) <毎週金曜日> 2時限・講時 10 : 40～12 : 10				
超過時の選考方法					
成績評価方法	定期試験(筆記)		%		
	レポート試験(期末)		%		
	平常点(出席・授業態度)		10		%
	その他(第1～5回の課題:40%、 発表・レポート:50%)		90		%
別途負担費用	なし		あり()円		
その他特記事項					
<講義概要・到達目標>					
概要:妊娠・出産・育児の一連の過程から、時代の変遷と現代の子育ての社会的背景や課題について考えることを目標とする。授業は対面での講義、グループディスカッション、発表の形式で行う。 授業のねらい:子育ては、父親と母親が互いに支え合い協力し合って子育てするという意味を理解し、子育てにまつわる時代の変遷から現代の子育てについて考察する。また子育ては、生命の循環を通じた世代間の役割や、さらに親として成長するための支援方法の理解を深める。 授業の到達目標:①子育てにおけるペアレンティングに必要性が説明できる。②子どもの成長・発達に応じた子育て支援について考察できる。③世代間の生命の循環と現代の子育てについて考察できる。					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	6月5日	オリエンテーション(実施形態:対面):授業の概要・ねらい・到達目標を理解し、授業の進め方を理解して授業に備える。(授業外学習:第2回の準備[4時間])			
2	6月12日	妊娠・出産時のペアレンティング(実施形態:対面):妊娠期から出産期を通して父親、母親になる過程について学ぶ。(授業外学習:復習[2時間]、第3回の準備[2時間])			
3	6月19日	子どもの成長と子育て①(実施形態:対面):乳児期・幼児期の子どもの成長・発達に伴う子育ての現状について学ぶ。(授業外学習:復習[2時間]、第4回の準備[2時間])			
4	6月26日	子どもの成長と子育て②(実施形態:対面):学童期・思春期の子どもの成長・発達に伴う子育ての現状について学ぶ。(授業外学習:復習[2時間]、第5回の準備[2時間])			
5	7月3日	プレコンセプション・ケアと子育て(実施形態:対面):プレコンセプション・ケアの現状を学び、現代の子育ての課題を考える。(授業外学習:復習[2時間]、第6回の準備[2時間])			
6	7月10日	世代間循環と子育て(実施形態:対面):子ども、父母、祖父母の世代間循環や親になることについて考える。(授業外学習:復習[2時間]、第7回の準備[2時間])			
7	7月17日	現代の子育て①(実施形態:対面):時代背景、世代間循環、子どもの成長・発達を通して現代の子育てについて考える。(授業外学習:発表準備[2時間])			
8	7月24日	現代の子育て②(実施形態:対面):時代背景、世代間循環、子どもの成長・発達を通して現代の子育てについて考えたことを発表する。(授業外学習:復習[2時間])			
<教科書・参考書>					
看護のための人間発達学:舟島なをみ, 医学書院					

科目番号	23	科目名	老年看護論	
英文科目名	Elderly Nursing			
大学・短期大学名	聖泉		大学	
連絡先	滋賀県彦根市肥田町720			
	TEL :	0749-43-3600	FAX :	0749-43-5210
担当教員	古川 智恵 (看護学部 教授)			
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名		会場		
授業期間	2026年4月9日(木) ~ 2027年5月21日(木) <毎週木曜日> 2 時限・講時 10 : 40 ~ 12 : 10			
超過時の選考方法	先着順			
成績評価方法	定期試験(筆記)	70	%	
	レポート試験(期末)	30	%	
	平常点(出席・授業態度)	0	%	
	その他()	0	%	
別途負担費用	なし()円			
その他特記事項	各回、事前・事後課題を課す。授業外学習時間は事前と事後を合わせて30時間以上とする。課題のフィードバックは、課題に応じて個別または全体に行う。			
<講義概要・到達目標>				
高齢期を生きる人の心身の特性をとらえ、衰退の一面だけでなく高齢期の発達課題に向き合う姿を含めて理解する視点を概説する。高齢者を取り巻く環境、特に家族・地域・社会制度と関わりあいながら生活している現在の状況を、文献等から読み取り個人・グループで考察する課題に取り組む。その上で、高齢者の健康生活を支援する看護の基本的な考え方について概説する。				
<到達目標>				
1. 高齢者を時間軸と関係軸から捉え、老年期の特徴を説明できる				
2. 高齢者の発達課題と発達を支援する看護について説明できる				
3. 高齢者を取り巻く社会制度について説明できる				
4. 高齢者の特性を5つの側面から捉え、それらの相互関係を説明できる				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	4月9日	老年看護を理解するための基盤		
2	4月16日	老年看護の理念と目標		
3	4月23日	老年看護に活用できる理論・概念		
4	4月30日	老年看護の対象理解(4/30 9:00~10:30)		
5	4月30日	対象把握のためのアセスメント(4/30 10:40~12:10)		
6	5月7日	高齢者の健康回復・維持への支援		
7	5月14日	認知症の高齢者の支援		
8	5月21日	生かし生かされる地域づくり		
9	月 日			
10	月 日			
11	月 日			
12	月 日			
13	月 日			
14	月 日			
15	月 日			
<教科書・参考書>				
南江堂 老年看護学概論(改訂第4版)				

科目番号	24	科目名	人間関係論	
英文科目名				
大学・短期大学名	聖泉		大学	
連絡先	滋賀県彦根市肥田町720			
	TEL :	0749-43-7510	FAX :	0749-43-5210
担当教員	木村 美智子		(看護 学部 准教授)	
実施方法	対面授業		遠隔授業	対面・遠隔併用
教室名		会場		
授業期間	2026年9月28日(月)～2026年11月16日(月) <毎週月曜日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 30			
超過時の選考方法				
成績評価方法	定期試験(筆記)	70	%	
	レポート試験(期末)		%	
	平常点(出席・授業態度)	30	%	
	その他()		%	
別途負担費用	なし		あり()円	
その他特記事項				
<講義概要・到達目標>				
<p><授業概要>私たちは人との繋がり、人間関係の中でお互い支えあって生きている。さまざまな視点から、援助的なコミュニケーションのあり方を考察し、他者・自分自身の対人関係の振り返りを通して理解を深める。加えて医療職を目指す者としての人間関係について概説する。</p> <p><到達目標>1.よりよい人間関係の構築のための人間関係論を理解できる。2.看護師と対象者との間における援助の土台が理解できる。</p>				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	9月28日	人間関係論とは		
2	10月5日	対人認知とは		
3	10月12日	パーソナリティ、コミュニケーションとチャンネルとは		
4	10月19日	感情、援助行動・援助要請とソーシャルサポート、社会的スキルについて		
5	10月26日	人間関係を理解する、カウンセリング的アプローチと人間関係について		
6	11月2日	動機づけと人間関係について		
7	11月9日	リーダーシップ、チーム、コーチングについて		
8	11月16日	集団、人間関係を難しくする障害について		
9	月 日			
10	月 日			
11	月 日			
12	月 日			
13	月 日			
14	月 日			
15	月 日			
<教科書・参考書>				
山蔦圭輔、本田周二著:メディカルスタッフのための基礎からわかる人間関係論、第1版、南山堂、2021.				

科目番号	25	科目名	成人看護論	
英文科目名	Adult Nursing			
大学・短期大学名	聖泉		大学	
連絡先	滋賀県彦根市肥田町720			
	TEL :	0749-43-3600	FAX :	0749-43-5210
担当教員	古川 智恵		(看護 学部 教授)	
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名		会場		
授業期間	2026年10月1日(木) ~ 2027年1月14日(木) <毎週 木曜日> 3 時限・講時 13 : 00 ~ 14 : 30			
超過時の選考方法				
成績評価方法	定期試験 (筆記)	70	%	
	レポート試験 (期末)	30	%	
	平常点 (出席・授業態度)	0	%	
	その他 ()	0	%	
別途負担費用	(なし)		あり()円	
その他特記事項	各回、事前・事後課題を課す。授業外学習時間は事前と事後を合わせて60時間以上とする。課題の評価は、個別または全体にフィードバックを行う。			
<講義概要・到達目標>				
ライフサイクルにおける成人期の特徴について、身体的・心理的・社会的側面から解説し、成人の生活を支援するための保健・医療・福祉システムについて教授する。また、健康障害を潜在的・顕在的に有する成人とその家族への看護を考えるための看護理論・概念を整理し、急性期、回復期(リハビリテーション看護)、慢性期および人生の最終段階にある人の療養の場とその移行を支える援助について考察する。				
<到達目標>				
1. 成人の定義および成人をとりまく状況とライフスタイルの多様性について説明できる。				
2. 成人の発達段階や発達課題、身体・心理・社会的特徴について説明できる。				
3. 成人の健康障害について説明できる。				
4. 成人の看護に必要な基本的アプローチについて説明できる。				
5. 成人の生活と健康を守り育む保健・医療・福祉システムについて説明できる。				
6. あらゆる健康障害レベルにある成人について看護理論・概念を用いて考察できる。				
7. 急性期、回復期(リハビリテーション看護)、慢性期および人生の最終段階にある人への看護援助方法について考察できる。				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	10月1日	成人をとりまく今日の状況		
2	10月8日	成人期にある人の健康 ①健康とは、成人にとっての病気の体験とは		
3	10月15日	成人期にある人の健康 ②成人保健と今日の健康動向、保健・医療・福祉政策と今日の健康課題		
4	10月22日	成人期にある人の健康 ③生活習慣と健康		
5	10月29日	成人期にある人の健康 ④職業・労働と健康		
6	11月5日	成人期にある人の健康 ⑤生活ストレスと健康、性・更年期と健康		
7	11月12日	成人期にある人の健康 ⑥災害と健康		
8	11月19日	成人期にある人を看護するための基本的な考え方		
9	11月26日	健康状態に応じた看護①ヘルスプロモーション、ヘルスプロテクション		
10	12月3日	健康状態に応じた看護②健康状態が急激に変化し急性の状態にある人への看護		
11	12月10日	健康状態に応じた看護③生活機能障害のある人への看護(リハビリテーション看護)		
12	12月17日	健康状態に応じた看護④慢性的な経過をたどる健康障害を有する人への看護		
13	12月24日	健康状態に応じた看護⑤人生の最終段階にある人への看護		
14	1月7日	成人看護を充実させる実践的環境①看護職の倫理綱領と成人看護、専門職間の連携と協働		
15	1月14日	成人看護を充実させる実践的環境②医療安全、質の高い看護実践のための人材育成		
<教科書・参考書>				
南江堂 成人看護学概論(改定第4版)				
南江堂 成人看護学 成人看護技術[Web動画付](改訂第3版)				

科目番号	26	科目名	基礎微生物学		
英文科目名					
大学・短期大学名	長浜バイオ			大学	
連絡先	滋賀県長浜市田村町1266番地				
	TEL :	0749-64-8100	FAX :	0749-64-8140	
担当教員	石川 聖人 (バイオサイエンス 学部)				
実施方法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教室名	中講義室⑤	会場	長浜バイオ大学		
授業期間	2026年4月7日(火)～2026年7月21日(火) <毎週 火曜日> 1 時限・講時 9 : 40 ~ 11 : 10				
超過時の選考方法					
成績評価方法	定期試験 (筆記)	0	%		
	レポート試験 (期末)	100	%		
	平常点 (出席・授業態度)	0	%		
	その他 ()	0	%		
別途負担費用	なし あり()円				
その他特記事項					
<講義概要・到達目標>					
【講義概要】 本講義では、肉眼で見ることのできない微小生物発見の歴史から、微生物の分類法、純粋分離法、培養法、染色法と各種顕微鏡による観察、微生物の栄養学的性質と増殖、構造と機能の違い、環境因子の増殖への影響といった微生物研究のための基本技術を概説し、自立増殖できる生命の中で最も基本となる微生物について理解を深める。更に微生物における物質生産、環境浄化そして自然界での物質循環における役割なども概説する。					
【到達目標】 微生物を扱う基本的な技術を習得し、様々な微生物の生態を理解し、人類および地球規模での関係(特に医、食、環境)についての基本的な知識を習得する。					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	4月7日	第1回 微生物学の概念と歴史			
2	4月14日	第2回 微生物の取り扱い方			
3	4月21日	第3回 エネルギーの獲得方法			
4	4月28日	第4回 微生物の生育と条件			
5	5月12日	第5回 微生物の分類Ⅰ:微生物進化学と分類学			
6	5月19日	第6回 微生物の分類Ⅱ:古細菌・真核微生物			
7	5月26日	第7回 微生物と抗生物質			
8	6月2日	第8回 ウイルス			
9	6月9日	第9回 遺伝子操作における微生物の利用			
10	6月16日	第10回 アルコール発酵			
11	6月23日	第11回 アミノ酸の生産			
12	6月30日	第12回 食物保存と微生物汚染			
13	7月7日	第13回 極限環境微生物			
14	7月14日	第14回 微生物による元素循環			
15	7月21日	第15回 微生物による排水処理			
<教科書・参考書>					
「ベーシックマスター 微生物学」掘越弘毅監修 井上明編 オーム社					

科目番号	27	科目名	動物系統分類学		
英 文 科 目 名					
大学・短期大学名	長浜バイオ				大学
連 絡 先	滋賀県長浜市田村町1266番地				
	TEL :	0749-64-8100	FAX :	0749-64-8140	
担 当 教 員	和田 修一		(バイオサイエンス 学部)		
実 施 方 法	対面授業		遠隔授業	対面・遠隔併用	
教 室 名	大講義室②	会場	長浜バイオ大学		
授 業 期 間	2026 年 9 月 29 日 (火) ~ 2027 年 1 月 26 日 (火) <毎週 火曜日> 2 時限・講時 11 : 10 ~ 12 : 40				
超過時の選考方法					
成績評価方法	定 期 試 験 (筆 記)			0	%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)			60	%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)			0	%
	そ の 他 (小 テ ス ト)			40	%
別 途 負 担 費 用	なし		あり()円	
その他特記事項					
<講義概要・到達目標>					
【講義概要】					
動物を用いた研究を行う上で、また生物多様性の意義を理解する上で、地球上にどのような動物が存在するか、また、それぞれの動物がどのような関係であるかを理解することは極めて重要である。分類学は、生物を識別し、その多様性を体系化する学問分野として始まり、進化に伴う生物の系統発生を再構成する系統学の成果を取り入れつつ発展してきた。本講義の前半では、分類学の方法や規則、種概念などの基本的事項を説明する。後半では、分類学の成果として明らかになった動物の進化、系統、分類体系の説明および動物群ごとの紹介を行う。さらに、動物系統分類学における新たな研究手法について説明する。					
【到達目標】					
動物を分類する際の方法・規則の概略を説明できる。 動物の系統推定の方法の概略を説明できる。 動物の系統の全体像を思い浮かべることができる。 各動物群の特徴と関係がわかる。					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	9月29日	第1回:系統分類学の歴史			
2	10月6日	第2回:分類学の規則			
3	10月13日	第3回:系統分類学の方法:種と種分化			
4	10月20日	第4回:系統分類学の方法:代表的分類法(1)			
5	10月27日	第5回:系統分類学の方法:代表的分類法(2)			
6	11月10日	第6回:系統分類学の方法:分子系統解析(1)			
7	11月17日	第7回:系統分類学の方法:分子系統解析(2)			
8	11月24日	第8回:系統地理学			
9	12月1日	第9回:動物の進化と多様性:動物界の概要、初期に分岐した動物			
10	12月8日	第10回:動物の進化と多様性:脱皮動物			
11	12月15日	第11回:動物の進化と多様性:螺旋卵割動物(1)			
12	12月22日	第12回:動物の進化と多様性:螺旋卵割動物(2)			
13	1月12日	第13回:動物の進化と多様性:新口動物(1)			
14	1月19日	第14回:動物の進化と多様性:新口動物(2)			
15	1月26日	第15回:動物の進化と多様性:新口動物(3)			
<教科書・参考書>					
特に指定しない。					

科目番号	28	科目名	人工知能概論		
英 文 科 目 名					
大学・短期大学名	長浜バイオ			大学	
連 絡 先	滋賀県長浜市田村町1266番地				
	TEL :	0749-64-8100	FAX :	0749-64-8140	
担 当 教 員	塩生 真史・清水 正宏・白井 剛・須永 知彦 (バイオサイエンス 学部)				
実 施 方 法	対面授業		遠隔授業	対面・遠隔併用	
教 室 名	大講義室①	会場	長浜バイオ大学		
授 業 期 間	2026 年 9 月 29 日 (火) ~ 2027 年 1 月 26 日 (火) <毎週 火曜日> 3 時限・講時 13 : 30 ~ 15 : 00				
超過時の選考方法					
成績評価方法	定期試験 (筆記)			0	%
	レポート試験 (期末)			100	%
	平常点 (出席・授業態度)			0	%
	その他 ()			0	%
別途負担費用	なし		あり()円		
その他特記事項	必要に応じて追加レポートを課す場合がある。				
<講義概要・到達目標>					
【講義概要】					
コンピュータの性能向上や大量のデータの蓄積に伴って、人工知能(AI)は飛躍的に機能が向上している。それにより、日常の様々な場面でAIが実用的に使われるようになっており、特定の分野では人の能力を凌駕したAIも登場している。一方で、AIが人の仕事を奪うことに対する懸念や、AIがどのような基準で判断を下しているのか人に理解できるようにすることが難しいなど様々な課題も生じている。本講義では、AIの歴史や、社会的活用例、倫理的課題、代表的なアルゴリズムなどのトピックスを通してAIについての基礎を学ぶ。					
【到達目標】					
人工知能(AI)の変遷や社会との関わり、AI技術の基本的な概念や活用事例を理解し、それらを説明できる。					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	9月29日	第1回 データ駆動型社会とデータサイエンス			
2	10月6日	第2回 AIのアルゴリズム(機械学習その1)			
3	10月13日	第3回 ビッグデータとデータエンジニアリング			
4	10月20日	第4回 AIと法1:倫理と法、人の人格的利益への配慮			
5	10月27日	第5回 AIと法2:知的財産権の考え方			
6	11月10日	第6回 AIと法3:技術の進展と法的対応			
7	11月17日	第7回 AIを理解するための数学(その1)			
8	11月24日	第8回 AIを理解するための数学(その2)			
9	12月1日	第9回 分析設計			
10	12月8日	第10回 AIのアルゴリズム(機械学習その2)			
11	12月15日	第11回 AIのアルゴリズム(深層学習その1)			
12	12月22日	第12回 AIのアルゴリズム(深層学習その2)			
13	1月12日	第13回 AIによる予測・診断			
14	1月19日	第14回 AIと身体・運動			
15	1月26日	第15回 AIの構築・運用			
<教科書・参考書>					
nabalaに公開する講義資料をテキストとする。					

科目番号	29	科目名	子ども学総論		
英文科目名	General Remarks of Child Studies				
大学・短期大学名	びわこ学院			大学	
連絡先	びわこ学院大学 教務課				
	TEL :	0748-35-0002	FAX :	0748-23-7202	
担当教員	烏野 猛、奥田 愛子、渡辺 雅幸 (教育福祉 学部 教授、教授、准教授)				
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用		
教室名	本学講義室	会場	びわこ学院大学		
授業期間	2026 年 4 月 9 日		2026 年 7 月 27 日		
	<毎週 木曜日>	4 時限・講時	14	40	~ 16 : 10
	月	2	10	40	~ 12 : 10
超過時の選考方法	抽選				
成績評価方法	定期試験 (筆記)			0	%
	レポート試験 (期末)			70	%
	平常点 (出席・授業態度)			30	%
	その他 ()			0	%
別途負担費用	なし	あり()円			
その他特記事項	3名の担当者の総合評価で行う、AL(ミニツツペーパー、ディスカッション)				
<講義概要・到達目標>					
3人の担当者が、心理学、福祉法学、教育学それぞれの専門領域から「子ども学」の研究方法や内容、課題について概説する。また「子ども」に関わる諸課題について、各々の専門領域での検討枠組みの基本的理解をおさえたうえで、その枠組みを超えたアプローチ方法について考察を行う。オムニバス形式であるものの、ディベートや、グループディスカッションを踏まえた講義を展開する。					
①「子ども学」の概要について説明できる。					
②心理学、社会福祉学、教育学の各分野で用いられる基礎的な用語・概念について説明できる。					
③「子ども」に対し、学術的背景を踏まえて対応するための基礎的な知識や考え方・態度を身につけることができる。					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	4月9日	「子ども」の今と昔			
2	4月16日	「子ども」の貧困			
3	4月23日	「子ども」主体の学び			
4	4月30日	子育て支援制度			
5	5月7日	途上国の「子ども」			
6	5月14日	子ども領域における裁判事例①			
7	5月21日	子どもと虐待についての判例考察			
8	5月28日	子どもと親権についての判例考察			
9	6月4日	保育所・幼稚園における事故の判例考察			
10	6月11日	小学校以上の教育現場における事故の判例考察			
11	6月29日	子どもの発達を探る1			
12	7月6日	子どもの発達を探る2			
13	7月13日	子どもの遊びと学び1			
14	7月20日	子どもの遊びと学び2			
15	7月27日	子どもの育ち			
<教科書・参考書>					
適宜、プリント・資料を配布する。					

科目番号	30	科目名	滋賀の環境	
英 文 科 目 名	Environment of Shiga			
大学・短期大学名	びわこ学院		大学	
連 絡 先	びわこ学院大学 教務課			
	TEL :	0748-35-0002	FAX :	0748-23-7202
担 当 教 員	佐々木 和之 (教育福祉 学部 非常勤講師)			
実 施 方 法	☑️対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教 室 名	2102(第6)講義室	会場	びわこ学院大学	
授 業 期 間	2026 年 9 月 29 日 (火) ~ 2027 年 1 月 19 日 (火) <毎週 火曜日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 30			
超過時の選考方法	抽選			
成績評価方法	定 期 試 験 (筆 記)	0		%
	レポ ー ト 試 験 (期 末)	48		%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)	0		%
	そ の 他 (講 義 内 ミ ニ レ ポ ー ト)	52		%
別 途 負 担 費 用	なし		☑️あり(環境イベント等の交通費)円	
そ の 他 特 記 事 項	AL(フィールドワーク、ミニッツ・ペーパー)			
<講義概要・到達目標>				
近年、環境学習の重要性が高まっている。身近に「環境」をうたうものが溢れる中、この講義では滋賀という場を通じて「環境」を捉え直す。前半では、人間生活と生き物の視点から滋賀の環境を捉え、環境に対する取り組みや、環境の認識について学ぶ。後半では、いかに子ども達へ環境問題を伝えるかをテーマとして、フィールドワークなども踏まえながら、演習も行っていく。				
① 環境問題を子ども達へ伝えることをテーマとして、各自が滋賀の環境を認識することができる。 ② 各自が環境への関わり方についての視座を持つことができる。 ③ 身近な環境問題について、複数の視点から問題を捉え、論点を明確に表現できる。				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	9 月 29 日	人と環境		
2	10 月 6 日	市民活動と環境		
3	10 月 13 日	人と自然		
4	10 月 20 日	環境の認識		
5	10 月 27 日	環境の調べ方		
6	11 月 10 日	グリーン購入運動を通じた環境への関わり		
7	11 月 17 日	エネルギー問題と地球温暖化		
8	11 月 24 日	環境学習		
9	12 月 1 日	環境をテーマとした学習計画		
10	12 月 8 日	学びを誘う学習プログラムの立案		
11	未定 日	フィールドで見つける滋賀の自然1		
12	未定 日	フィールドで見つける滋賀の自然2		
13	1 月 5 日	学習のまとめと評価・授業計画と実施における視点		
14	1 月 12 日	地域の魅力を調べる「地域調べ」		
15	1 月 19 日	地域調べの記録化と活用		
<教科書・参考書>				
適宜、プリント、資料を配布する。				

科目番号	31	科目名	スポーツ医学概論A		
英文科目名	Medicine and science for sports conditioningA				
大学・短期大学名	びわこ学院			大学	
連絡先	びわこ学院大学 教務課				
	TEL :	0748-35-0002	FAX :	0748-23-7202	
担当教員	高木 俊 (教育福祉 学部 教授)				
実施方法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教室名	本学講義室	会場	びわこ学院大学		
授業期間	2026年10月1日(木) ~ 2027年1月14日(木) <毎週 木曜日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 30				
超過時の選考方法	抽選				
成績評価方法	定期試験(筆記)	40			%
	レポート試験(期末)				%
	平常点(出席・授業態度)				%
	その他(発表・コメントシートなど)	60			%
別途負担費用	なし あり()円				
その他特記事項	順番は変更することがあります。AL(グループワーク・プレゼンテーション)				
<講義概要・到達目標>					
本講義では、スポーツ現場での実践例を交えながら、スポーツ医学・スポーツ医科学の基礎知識を身につけることを目的とする。具体的には、スポーツ医学・スポーツ医科学的観点から、競技力の向上、健康・体力の向上、障害の治療などといった『Quality of Lifeの向上』についての知識を得ることを目指す。本講義は整形外科及び内科の観点から学習することで、幅広くスポーツ医学の知識を得るとともに、自他の健康づくりに寄与できるよう学びを深めることとする。					
① スポーツ医学・スポーツ医科学の概要を理解し、説明できる。 ② 競技現場における内科的問題および整形外科的問題を理解し、説明できる。					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	10月1日	ガイダンス			
2	10月8日	スポーツと医学の関連性			
3	10月15日	上肢のスポーツ外傷と障害			
4	10月22日	体幹のスポーツ外傷と障害、下肢のスポーツ外傷と障害			
5	10月29日	スポーツ外傷に対する応急処置・救急蘇生法			
6	11月5日	パフォーマンス向上のためのスポーツ医科学			
7	11月12日	スポーツ外傷、障害からの競技復帰(リハビリテーション)			
8	11月19日	メディカルチェック(内科)とその活用			
9	11月26日	スポーツ内科的障害(急性)と対策			
10	12月3日	スポーツ内科的障害(慢性)と対策			
11	12月10日	女性アスリートの障害と対策			
12	12月17日	スポーツによる精神障害と対策			
13	12月24日	アンチドーピング			
14	1月7日	スポーツと健康・健康づくり施策			
15	1月14日	まとめ			
<教科書・参考書>					
適宜、プリント・資料を配布する。					

科目番号	32	科目名	メンタルトレーニング論		
英文科目名	Mental Training Theory				
大学・短期大学名	びわこ学院			大学	
連絡先	びわこ学院大学 教務課				
	TEL :	0748-35-0002	FAX :	0748-23-7202	
担当教員	竹内 早耶香 (教育福祉 学部 講師)				
実施方法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教室名	本学講義室	会場	びわこ学院大学		
授業期間	2026年4月7日(火) ~ 2026年7月21日(火) <毎週 火曜日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 30				
超過時の選考方法	抽選				
成績評価方法	定期試験 (筆記)			0	%
	レポート試験 (期末)			50	%
	平常点 (出席・授業態度)			0	%
	その他 (課題レポートなど)			50	%
別途負担費用	なし		あり()円		
その他特記事項	AL				
<講義概要・到達目標>					
<p>本授業では、アスリートの実力発揮やパフォーマンスの向上に関係する様々な心理的現象について理解を深めるとともに、自身の日常生活及び競技に対する姿勢について再考することを目指す。そこでは、心理スキルトレーニング方法の習得はもちろん、スキルトレーニングを通じて自身の心理的課題への克服に取り組む。体験的な理解を深める目的から、講義時に実習を予定している。</p>					
<p>① メンタルトレーニングの理論的背景を理解し、説明することができる。 ② アスリートが遭遇する、心理的現象に関する知識を習得し、説明することができる。 ③ 日常生活及び競技に対する姿勢について再考する態度を身につけ、自身の生活に応用することができる。</p>					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	4月7日	オリエンテーション			
2	4月14日	メンタルトレーニングの理論的背景			
3	4月21日	メンタルトレーニングの実際① アセスメント			
4	4月28日	メンタルトレーニングの実際② セルフモニタリング			
5	5月12日	メンタルトレーニングの実際③ リラクゼーション			
6	5月19日	メンタルトレーニングの実際④ 目標設定			
7	5月26日	メンタルトレーニングの実際⑤ メンタルマネジメント			
8	6月2日	メンタルトレーニングの実際⑥ メンタル・ブロック			
9	6月9日	メンタルトレーニングの実際⑦ ピークパフォーマンス			
10	6月16日	メンタルトレーニングの実際⑧ 集中力			
11	6月23日	メンタルトレーニングの実際⑨ 行動変容技法			
12	6月30日	メンタルトレーニングの実際⑩ バイオフィードバック技法			
13	7月7日	メンタルトレーニングの実際⑪ フォローアップ			
14	7月14日	心理サポートの実際			
15	7月21日	まとめ			
<教科書・参考書>					
適宜、プリント・資料を配布する。					

科目番号	33	科目名	レクリエーション論		
英 文 科 目 名	Recreation Theory				
大学・短期大学名	びわこ学院大学			短期大学部	
連 絡 先	びわこ学院大学短期大学部 教務課				
	TEL :	0748-35-0002	FAX :	0748-23-7202	
担 当 教 員	山ノ井 勉			(ライフデザイン 学科 講師)	
実 施 方 法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業	<input type="checkbox"/> 遠隔授業	<input type="checkbox"/> 対面・遠隔併用		
教 室 名	本学講義室	会場	びわこ学院大学		
授 業 期 間	2026 年 4 月 8 日 (水) ~ 2026 年 7 月 22 日 (水) <毎週 水曜日> 5 時限・講時 16 : 20 ~ 17 : 50				
超過時の選考方法	抽選				
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)				0 %
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)				50 %
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)				0 %
	そ の 他 (発 表 ・ プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン)				50 %
別 途 負 担 費 用	なし		<input checked="" type="checkbox"/> あり()円		
そ の 他 特 記 事 項	レクリエーションの実践において、物品等の購入が必要となる場合がある。 AL(ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション、ミニッツペーパー)				
<講義概要・到達目標>					
社会または地域におけるレクリエーションの意義について、「なぜレクリエーションが必要なのか」を問いかけながら理解を深めていくと同時に、グループワークでの具体的なレクリエーション活動の計画・実践を通して、レクリエーション活動を展開する上での基礎的なスキルを習得します。					
① 現代社会におけるレクリエーションの意義および理念が理解できる。 ② レクリエーション実践のための基礎的なスキルを習得することができる。					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	4 月 8 日	オリエンテーション			
2	4 月 15 日	レクリエーションの歴史と人間社会			
3	4 月 22 日	レクリエーションの活動領域			
4	4 月 29 日	日常生活とレクリエーション			
5	5 月 13 日	レクリエーションの参加者と支援者の役割			
6	5 月 20 日	個人・集団のレクリエーション			
7	5 月 27 日	社会福祉におけるレクリエーション活動			
8	6 月 3 日	授業内試験(レポート)			
9	6 月 10 日	レクリエーションの企画と実際			
10	6 月 17 日	近年の動向におけるレクリエーションの位置づけと実践①			
11	6 月 24 日	近年の動向におけるレクリエーションの位置づけと実践②			
12	7 月 1 日	レクリエーション活動の実際①			
13	7 月 8 日	レクリエーション活動の実際②			
14	7 月 15 日	レクリエーション活動の実際③			
15	7 月 22 日	授業内試験(計画書の作成)			
<教科書・参考書>					
適宜、プリント・資料を配布する。					

科目番号	34	科目名	生活と福祉	
英 文 科 目 名	Life and Welfare			
大学・短期大学名	びわこ学院大学		短期大学部	
連 絡 先	びわこ学院大学短期大学部 教務課			
	TEL :	0748-35-0002	FAX :	0748-23-7202
担 当 教 員	山ノ井 勉 (ライフデザイン 学科 講師)			
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教 室 名	本学講義室	会場	びわこ学院大学	
授 業 期 間	2026 年 9 月 7 日 (月) ~ 2027 年 1 月 25 日 (月) <毎週 月曜日> 1 時限・講時 9 : 00 ~ 10 : 30			
超過時の選考方法	抽選			
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)	0		%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)	70		%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)	20		%
	そ の 他 (レ ポ ー ト な ど)	10		%
別 途 負 担 費 用	なし		あり()円	
そ の 他 特 記 事 項	授業終了前にミニッツペーパーを実施します。			
<講義概要・到達目標>				
人間の生活において、福祉というのは大変重要な部分を占めていると考えられます。そこで、本講義では、これまでの人間の暮らしに関する社会福祉の理論や歴史等について学びつつ、現在までの生活や福祉に関わる社会制度のあり方や役割等について学びます。また、介護福祉士の資格試験に向けた対策も行う。そのため、振り返りシートの実施や、授業で取り組む課題について能動的な取り組みが必要となります。				
① 生活と福祉との関係について理解し、基本的知識を習得することができる。 ② 少子高齢社会など現代社会の課題を理解し、地域に貢献できる社会人としての基本的な姿勢・態度を身につけることができる。				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	9 月 7 日	オリエンテーション		
2	9 月 14 日	生活と福祉		
3	9 月 28 日	社会福祉の理論① 社会福祉と社会保障		
4	10 月 5 日	社会福祉の理論② 社会保障論		
5	10 月 12 日	社会福祉の理論③ 相談支援		
6	10 月 19 日	社会福祉の理論④ 相談支援		
7	10 月 26 日	授業内試験(筆記)		
8	10 月 31 日	高齢者に対する支援①		
9	11 月 23 日	高齢者に対する支援②		
10	11 月 30 日	子どもに対する支援①		
11	12 月 7 日	子どもに対する支援②		
12	12 月 14 日	福祉にかかわる諸制度①		
13	12 月 21 日	福祉にかかわる諸制度②		
14	1 月 18 日	福祉にかかわる諸制度③		
15	1 月 25 日	授業内試験(レポート)		
<教科書・参考書>				
適宜、プリント・資料を配布する。				

科目番号	35	科目名	中高齢者と生涯スポーツ	
英文科目名				
大学・短期大学名	びわこ成蹊スポーツ大学			大学
連絡先	大津市北比良1204番地			
	TEL :	077-596-8420	FAX :	077-596-8429
担当教員	村瀬 陽介 (スポーツ 学部 講師)			
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名	未定	会場		
授業期間	2026年4月20日(月)～2026年7月27日(月) <毎週月曜日> 3 時限・講時 13 : 10 ~ 14 : 50			
超過時の選考方法				
成績評価方法	定期試験(筆記)	30	%	
	レポート試験(期末)		%	
	平常点(出席・授業態度)		%	
	その他(①小レポート ②授業内テスト)	①50% ②20%	%	
別途負担費用	なし			
その他特記事項				
<講義概要・到達目標>				
<p>本科目は、生涯スポーツについてこれまで学んだ基礎知識をさらに発展させ、自身の意見を述べられることを目標とする。加齢による身体の変化について、生理学的観点から運動・スポーツの重要性を理解できるように授業を展開する。また、生涯スポーツに関わる現状と課題を整理し、スポーツ政策について解説する。木球などのニュースポーツの体験を通じて競技スポーツとは異なった楽しみ方を知り、運動・スポーツの持つ多面的な価値に気づくだけでなく、将来の運動実践につなげられるようにする。</p>				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	4月20日	ガイダンスおよび生涯スポーツの現状と課題		
2	4月27日	加齢と老化		
3	5月11日	老化と運動～骨格筋、骨～		
4	5月18日	老化と運動～免疫、肥満、炎症～		
5	5月25日	老化と運動～認知機能～		
6	6月1日	老化と運動～栄養～		
7	6月8日	授業のまとめ(1)と到達度検証		
8	6月15日	生涯スポーツのはじまりと日本における現状		
9	6月22日	中高齢者のスポーツと実際—木球体験		
10	6月29日	ヘルスプロモーションと行動変容ステージ		
11	7月6日	生涯スポーツの振興政策		
12	7月13日	スポーツクラブの運営		
13	7月20日	中高齢者のスポーツと実際—ゴールドツチ体験		
14	7月27日	スポーツの多様性		
15	月 日			
<教科書・参考書>				
適宜レジュメで触れる				

科目番号	36	科目名	自然環境とアウトドアスポーツ		
英文科目名	Outdoor Sports in the Natural Environments				
大学・短期大学名	びわこ成蹊スポーツ大学			大学	
連絡先	大津市北比良1204番地				
	TEL :	077-596-8420		FAX :	077-596-8429
担当教員	中川 宏治、橋本 和俊			(スポーツ 学部 准教授(中川)、講師(橋本))	
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用		
教室名	未定	会場			
授業期間	2026年4月20日(月)～2026年7月27日(月) <毎週月曜日> 2 時限・講時 10 : 40 ~ 12 : 20				
超過時の選考方法					
成績評価方法	定期試験(筆記)				%
	レポート試験(期末)				%
	平常点(出席・授業態度)				%
	その他(①各回小レポート②実践課題)				①60% ②40% %
別途負担費用	なし	あり()円			
その他特記事項	学外授業を予定しています(7月中旬の土日)、ノートパソコンを毎回の授業に必ず持参すること(学外授業やフィールドワークを除く)				
<講義概要・到達目標>					
スポーツ庁は、世界に誇る日本の恵まれた自然環境を活用でき、多くの人々が楽しく実践しやすいアウトドアスポーツを推進していくことで、スポーツの枠を超えて人々や社会に様々な好影響をあたえるとして、「アウトドアスポーツ推進宣言」を発信しています。また、文部科学省は、自然体験が豊富な子どもほど、道徳観・正義感が充実しており、アウトドアスポーツ・野外教育の重要性を説いています。本授業では、アウトドアスポーツ・教育を行うフィールドとしての自然環境について、SDGsやスポーツ、教育といった多様な視点から理解すること、またアウトドアスポーツの多様性についての理解を目指します。					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	4月20日	オリエンテーションおよび基本概念の導入			
2	4月27日	学外授業 身近な自然と文化①			
3	5月11日	学外授業 身近な自然と文化②			
4	5月18日	身近な自然と文化①			
5	5月25日	身近な自然と文化②			
6	6月1日	自然環境の保全と環境教育			
7	6月8日	環境教育パッケージプログラムを体験する①			
8	6月15日	環境教育パッケージプログラムを体験する②			
9	6月22日	アウトドアスキル①			
10	6月29日	アウトドアスキル②			
11	7月6日	ナビゲーションスキル			
12	7月13日	学外授業 環境教育の実践			
13	7月20日	学外授業 環境教育の実践			
14	7月27日	アウトドアスポーツ・野外教育理論			
<教科書・参考書>					
<使用教科書>					
・ネイチャーゲーム 1(著者:ジョセフ・バラード・コーネル 出版社:柏書房)					
・ネイチャーゲーム 2(著者:ジョセフ・バラード・コーネル 出版社:柏書房)					
<参考文献>					
スポーツ学のすすめ(びわこ成蹊スポーツ大学編)					
野外教育の理論と実践(杏林書院)					
災害対応の伝統知:比良山麓の里山から(昭和堂)					
『ネイチャーゲーム 1』『ネイチャーゲーム 2』『ネイチャーゲーム 3』『ネイチャーゲーム 4』(柏書房)					

科目番号	37	科目名	グッドコーチング論 I	
英文科目名				
大学・短期大学名	びわこ成蹊スポーツ大学		大学	
連絡先	大津市北比良1204番地			
	TEL :	077-596-8420	FAX :	077-596-8429
担当教員	北村 哲		(スポーツ 学部 教授)	
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名	未定	会場		
授業期間	2026年9月25日(金)～2027年1月15日(金) <毎週金曜日> 2 時限・講時 10 : 40 ~ 12 : 20			
超過時の選考方法				
成績評価方法	定期試験(筆記)	30	%	
	レポート試験(期末)		%	
	平常点(出席・授業態度)		%	
	その他(①授業レポート ②事例学習レポート)	①40% ②30%	%	
別途負担費用	なし	あり()円		
その他特記事項				
<講義概要・到達目標>				
<p>コーチは、スポーツの意義と価値を理解した上でスポーツとは何かを、何のためにスポーツ指導をしているのかを常に自分自身に問いかけ、成長し続ける必要がある(文部科学省, 2018)。成長し続けられるコーチ、どの時代においても良いコーチと認知されるために必要な事項は多岐にわたる。本授業科目では、プレイヤーの未来に関わる指導者の思考・判断に関わる事項や実際のコーチングを適切な方法で実施し、プレイヤーと良好な関係を築くための態度・行動に関する事項など、グッドコーチに求められる様々な事項について学習する。</p>				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	9月25日	オリエンテーション コーチの成長について		
2	10月2日	コーチングの実際		
3	10月9日	コーチの哲学		
4	10月16日	コーチの制御行動/コーチの自立性支援行動		
5	10月23日	コーチの自立性支援行動・制御行動によるプレイヤーへの影響①		
6	10月30日	コーチの自立性支援行動・制御行動によるプレイヤーへの影響②		
7	11月6日	コーチの自立性支援行動・制御行動によるプレイヤーへの影響③		
8	11月20日	コーチの暴力・ハラスメント行動		
9	11月27日	スポーツの意義と価値		
10	12月4日	フェアプレイ教育		
11	12月11日	コーチの成長		
12	12月18日	コーチの幸福		
13	1月8日	コーチのリーダーシップとマネジメント①		
14	1月15日	コーチのリーダーシップとマネジメント② 理想のスポーツ指導とは		
15	月 日			
<教科書・参考書>				
必要に応じて授業内で紹介する。				

科目番号	38	科目名	スポーツ政策論	
英文科目名	Policy management of sports			
大学・短期大学名	びわこ成蹊スポーツ大学		大学	
連絡先	大津市北比良1204番地			
	TEL :	077-596-8420	FAX :	077-596-8429
担当教員	石井 智 (スポーツ 学部 教授)			
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名	未定	会場		
授業期間	2026年9月28日(月)～2027年1月20日(水) <毎週月曜日> 4 時限・講時 15 : 00 ~ 16 : 40			
超過時の選考方法				
成績評価方法	定期試験(筆記)	30	%	
	レポート試験(期末)		%	
	平常点(出席・授業態度)		%	
	その他(①授業内課題レポート ②スポーツ政策提案発表)	①30% ②40%	%	
別途負担費用	なし	あり()円		
その他特記事項				
<講義概要・到達目標>				
<p>スポーツ政策を時系列的に概観し、スポーツが社会課題の解決にどのように活用されてきたのか、また、行政や企業がスポーツと関わりを持ちながらそれぞれの課題の解決にスポーツを活用しているのかを学ぶ。そして、今後、少子高齢化や人口減少などの社会課題解決にスポーツはどう貢献できるのかを受講者とともに考えていく。</p>				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	9月28日	講義のガイダンスおよびスポーツ政策の概要		
2	10月5日	日本のスポーツをめぐる政策の動向		
3	10月19日	現代社会におけるスポーツの役割		
4	10月26日	スポーツの関連法規		
5	11月2日	スポーツ基本法とスポーツ基本計画		
6	11月9日	スポーツの政策とその構造		
7	11月16日	スポーツ法規と政策		
8	11月23日	国内スポーツ政策の実際		
9	11月30日	滋賀県を事例とした地方自治行政のしくみとスポーツ政策		
10	12月7日	滋賀県のスポーツ政策の実際		
11	12月14日	スポーツと企業		
12	12月21日	メガスポーツイベントの文化社会的意義まとめ		
13	1月18日	スポーツ政策立案とプレゼン1		
14	1月20日	スポーツ政策立案と発表プレゼン2		
<教科書・参考書>				
<参考文献>				
八木匡、横山勝彦、石井智他「スポーツの組織文化と産業」晃洋書房(2012年)				
太田進一、石井智他「ビジネスモデルと企業政策」晃洋書房(2006)				
横山勝彦、鳥羽賢二他「スポーツの経済と政策」晃洋書房(2011)				
他				

科目番号	39	科目名	身体操作法		
英文科目名					
大学・短期大学名	びわこ成蹊スポーツ大学				大学
連絡先	大津市北比良1204番地				
	TEL :	077-596-8420	FAX :	077-596-8429	
担当教員	高橋 佳三、岡部 優真			(スポーツ 学部 教授(高橋)、 講師(岡部))
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用		
教室名	未定	会場			
授業期間	2026年9月30日(水)～2027年1月13日(水) <毎週水曜日> 1 時限・講時 8 : 50 ~ 10 : 30				
超過時の選考方法					
成績評価方法	定期試験(筆記)				%
	レポート試験(期末)				%
	平常点(出席・授業態度)				%
	(①授業への参加度 その他②レポート③模擬授業指導案 ④プレゼンテーション)				①25% ②25% ③25% ④25% %
別途負担費用	なし	あり()円			
その他特記事項					
<講義概要・到達目標>					
<p>スポーツの指導や動作分析を行う時に、「自身の身体を動かす感覚」が優れていることは、「目の付け所を探す」時に必ず必要となる。普段何気なく動かしている身体の部位(肩甲骨、股関節、体幹)などの動かし方に始まり、スポーツの中で重要となる動きを学び、さらにそれらの指導ができるようになることを目的とする。そして、それらの動きに潜むバイオメカニクスや生理学的な原則を理解し、スポーツの中で行われている様々な運動を見るための能力を養う。</p>					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	9月30日	オリエンテーション、身体の特徴の確認、身体操作法の概略			
2	10月7日	単元1:足の指の動きについて(担当:高橋)			
3	10月14日	単元2:股関節の動きについて:前屈と開脚(担当:高橋)			
4	10月21日	単元3:肩甲骨の動きについて(担当:高橋)			
5	10月28日	単元4:スポーツに応用できる身体の動かし方について(担当:高橋)			
6	11月4日	単元5:走り方について(担当:岡部)			
7	11月11日	単元6:跳び方について(単発の跳躍運動)(担当:岡部)			
8	11月25日	単元7:跳び方について(連続の跳躍運動)(担当:岡部)			
9	12月2日	プレゼンテーション01:指導案の作成			
10	12月9日	プレゼンテーション02:動画の撮影			
11	12月16日	プレゼンテーション03:動画の編集			
12	12月23日	プレゼンテーション04:動画の確認と再編集			
13	1月6日	プレゼンテーション05:動画の評価			
14	1月13日	まとめおよび総評			
<教科書・参考書>					
特になし					

科目番号	40	科目名	神経科学総論A	
英文科目名	Introduction to Neuroscience (A)			
大学・短期大学名	びわこリハビリテーション専門職		大学	
連絡先	びわこリハビリテーション専門職大学 びわこ東近江キャンパス事務センター			
	TEL :	0749-46-2311	FAX :	0749-46-2313
担当教員	三谷 章 (リハビリテーション 学部 教授)			
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名	4階 大ホール	会場	びわこ八日市キャンパス	
授業期間	2026年4月10日(金)～2026年7月31日(金) <毎週金曜日> 3 時限・講時 13 : 20 ~ 14 : #			
超過時の選考方法	書類選考			
成績評価方法	定期試験(筆記)	0	%	
	レポート試験(期末)	0	%	
	平常点(出席・授業態度)	0	%	
	その他(毎回実施の小テストの成績)	100	%	
別途負担費用	なし		あり()円	
その他特記事項	学習支援システムmanabaを使用する。欠席連絡や質問等はmanabaを活用する。			
<講義概要・到達目標>				
<p>神経系全般の構造と機能について講義を行う。具体的には、①生命維持に重要な自律神経機能、②機能素子としてのニューロンの働き、③運動発現の仕組み、について講述し、神経系全般にわたる広い基礎知識の習得を促す。</p> <p>講義内容は、文系・理系を問わず神経系に興味のある学生が聴講するというレベルである。また将来、専門課程に進んで神経系に関する研究を行う学生がその知識の整理のために聴講するのもにも適している。「神経科学総論A」のみの受講も可能だが、「神経科学総論B」も受講することによって神経系全体を学習できるので、連続した受講を推奨する。</p>				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	4月10日	神経系の構成		
2	4月17日	自律神経機能(構成、交感神経系、副交感神経系、調節機構)		
3	4月24日	ニューロンの機能(静止電位の形成)		
4	5月8日	ニューロンの機能(活動電位の発生)		
5	5月15日	ニューロンの機能(活動電位の伝導)		
6	5月22日	ニューロンの機能(シナプス伝達)		
7	5月29日	筋収縮機構(骨格筋の構造と興奮収縮連関)		
8	6月5日	筋収縮(単収縮、強縮)		
9	6月12日	脊髄(運動ニューロン、運動単位)		
10	6月19日	脊髄(筋の受容器)		
11	6月26日	脊髄(反射)		
12	7月10日	大脳皮質運動野(構成、伝導路)		
13	7月17日	脳幹の運動機能		
14	7月24日	大脳基底核の構造と機能		
15	7月31日	小脳の構造と機能		
<教科書・参考書>				
教科書は使用しない。原則、毎回の授業で配布する講義プリントを使用する。参考書は授業中に紹介する。				

科目番号	41	科目名	神経科学総論B	
英文科目名	Introduction to Neuroscience (B)			
大学・短期大学名	びわこリハビリテーション専門職		大学	
連絡先	びわこリハビリテーション専門職大学 びわこ東近江キャンパス事務センター			
	TEL :	0749-46-2311	FAX :	0749-46-2313
担当教員	三谷 章 (リハビリテーション 学部 教授)			
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名	4階 大ホール	会場	びわこ八日市キャンパス	
授業期間	2026年9月28日(月)～2027年1月25日(月) <毎週月曜日> 1 時限・講時 9 : 20 ~ 10 : 50			
超過時の選考方法	書類選考			
成績評価方法	定期試験(筆記)	0	%	
	レポート試験(期末)	0	%	
	平常点(出席・授業態度)	0	%	
	その他(毎回実施の小テストの成績)	100	%	
別途負担費用	なし		あり()円	
その他特記事項	学習支援システムmanabaを使用する。欠席連絡や質問等はmanabaを活用する。			
<講義概要・到達目標>				
<p>神経系全般の構造と機能について講義を行う。具体的には、①各感覚系の情報処理機構、②情報を統合する統合系機能、③個体維持や種族保存に関係する神経機能、などについて講述し、神経系全般にわたる広い基礎知識の習得を促す。</p> <p>講義内容は、文系・理系を問わず神経系に興味のある学生が聴講するというレベルである。また将来、専門課程に進んで神経系に関する研究を行う学生がその知識の整理のために聴講するのもにも適している。「神経科学総論B」のみの受講も可能だが、「神経科学総論A」も受講することによって神経系全体を学習できるので、連続した受講を推奨する。</p>				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	9月28日	感覚系総論		
2	10月5日	平衡感覚(受容機構)		
3	10月12日	平衡感覚(伝導路と機能)		
4	10月19日	聴覚(受容機構)		
5	10月26日	聴覚(中枢情報処理機構)		
6	11月2日	体性感覚(受容機構)		
7	11月9日	体性感覚(伝導路)		
8	11月16日	視覚(眼球、網膜構造)		
9	11月23日	視覚(網膜の情報処理)		
10	11月30日	視覚(伝導路、大脳皮質視覚野)		
11	12月7日	味覚・嗅覚		
12	12月14日	高次脳機能(大脳皮質の構造)		
13	12月21日	高次脳機能(睡眠、覚醒、脳波)		
14	1月18日	高次脳機能(大脳皮質適合野)		
15	1月25日	高次脳機能(辺縁系、視床下部)		
<教科書・参考書>				
教科書は使用しない。原則、毎回の授業で配布する講義プリントを使用する。参考書は授業中に紹介する。				

科目番号	42	科目名	生命科学概論(M)		
英文科目名	Introduction to Life Sciences (M)				
大学・短期大学名	立命館			大学	
連絡先	〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1				
	TEL :	077-561-4972	FAX :	077-561-3935	
担当教員	石水 毅 ほか7名 (生命科 学部 教授)				
実施方法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教室名	コラーニングハウスI C101	会場	立命館大学BKC(びわこ・くさつ)キャンパス		
授業期間	2026年4月6日(月)～2026年7月13日(月) <毎週月曜日> 5 時限・講時 16 : 40 ~ 18 : 15				
超過時の選考方法	出願票に記載の志望理由による選考				
成績評価方法	定期試験(筆記)				%
	レポート試験(期末)				%
	平常点(出席・授業態度)	100			%
	その他()				%
別途負担費用	(なし) あり()円				
その他特記事項	本科目は+R授業対象科目。第1回に+R授業を実施。詳細はmoodle+Rを参照				
<講義概要・到達目標>					
【授業の概要と方法】 21世紀は『生命科学』の世紀といわれる。これは、20世紀に急速に蓄積した“生物に対する知識”を基盤にして、21世紀には人類の健康と福祉に役立つ技術が開発され、実用化されるであろうことへの期待の表われである。この分野は人間を含む生物(生命体)を研究・実験の対象にするものであり、研究者ならびに技術者には高い倫理観が求められる。本講義は、生命科学部での導入科目として位置づけ、生命科学部の各学科における学問の形態や技術動向等について概観するとともに、研究者・技術者の役割と責任についても講義する。なお、幅広い話題を提供するために、オムニバス形式の講義とする。					
【到達目標】 生命科学研究の現場にいる人たちの研究動機およびに社会から求められる規範に触れることにより、どのように問題を理解し対処すべきか、判断するための基盤を獲得する。					
【成績評価方法】 ・科目全体としての検証テストは行わない ・レポート課題を適宜提示する ・小テストを適宜実施する ・質疑応答等、講義への積極的な参加を評価に加味する					
【授業外学習の指示】 予習: 事前に指示された参考書を読んでおくこと、余裕があればシラバスに示された参考書を読んでおくこと 復習: 講義内容を振り返ること、講義時間中に指示された参考書を読むこと 30分を目安としてこれら予習復習を行うこと					
【受講および研究に関するアドバイス】 色々なことに興味を持つこと					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	4月6日	石水毅:「授業の概要と導入」 高等学校の学びと大学での学びの違い、生命科学部における学び、科学を学ぶ者に求められること			
2	4月13日	越山友美:「応用化学関連テーマ」1 応用化学の立場から考える(1)			
3	4月20日	越山友美:「応用化学関連テーマ」2 応用化学の立場から考える(2)			

4	4月27日	立花雅史:「生命医科学関連テーマ」1 生命医科学の立場から考える(1)
5	5月11日	立花雅史:「生命医科学関連テーマ」2 生命医科学の立場から考える(2)
6	5月18日	深尾陽一郎:「生命情報学関連テーマ」1 生命情報学の立場から考える(1)
7	5月25日	深尾陽一郎:「生命情報学関連テーマ」2 生命情報学の立場から考える(2)
8	6月1日	竹田篤史:「生物工学関連テーマ」1 生物工学の立場から考える(1)
9	6月8日	竹田篤史:「生物工学関連テーマ」2 生物工学の立場から考える(2)
10	6月15日	森脇健介:「生命科学と社会」1 科学的根拠に基づく医療、優れた医療技術の開発、生命科学の研究成果を患者さんに届けるために必要なこと
11	6月22日	森脇健介:「生命科学と社会」2 医療技術評価、限られた医療資源の公平かつ効率的な配分、生命科学の研究成果を社会でうまく使っていくために必要なこと
12	6月29日	山末英嗣:「工学倫理および産業エコロジー」□ 産業と生命の関係をライフサイクル思考の視点から考える
13	7月6日	宮崎栄二:「特許」 特許権の取得に必要なこと、特許権の活用例
14	7月13日	石水毅:「授業の統括」 今後の生命科学部における学びに向けて
<p><教科書・参考書> 【教科書】 特に定めない。</p> <p>【参考書】 <1回目講義用 > 『大学でなにを学ぶか』加藤諦三 著 (ベストセラーズ 978-4584122303) 『現代語訳 学問のすすめ』福澤諭吉 著 (筑摩書房 978-4480064707)</p> <p><14回目講義用 > 『植物バイオテクノロジーでめざすSDGs変わる私たちの食と薬』小泉望・加藤晃 著 (化学同人 978-4759820867) 『植物はなぜ薬を作るのか』齊藤和季 著 (文書新書 978-4166611195)</p> <p>【参考になるwwwページ】 適宜、紹介する。</p>		

科目番号	43	科目名	近現代の科学技術(G1)		
英文科目名	Modern History of Science and Engineering(G1)				
大学・短期大学名	立命館			大学	
連絡先	〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1				
	TEL :		077-561-4972	FAX :	077-561-3935
担当教員	山本 憲隆、永井 清 (理工 学部 教授)				
実施方法	対面授業		遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名	コーピングハウスI C402	会場	立命館大学BKC(びわこ・くさつ)キャンパス		
授業期間	2026年4月7日(火)～2026年7月14日(火) <毎週 火曜日> 3 時限・講時 13 : 10 ~ 14 : 45				
超過時の選考方法	出願票に記載の志望理由による選考				
成績評価方法	定期試験(筆記)				%
	レポート試験(期末)				%
	平常点(出席・授業態度)		100		%
	その他()				%
別途負担費用	なし		あり()円		
その他特記事項	第1回授業までに+R授業(VOD20分)を視聴すること(詳細はmoodle+Rを参照).				
<講義概要・到達目標>					
【授業の概要と方法】					
前半7回の講義は、永井が担当する。ロボットと人工知能(AI)を対象として、そのルーツや歴史、基礎技術、産業界におけるヒューマノイドロボットなどの導入状況、社会実装されている医療AIや自動運転車などについて、文系学生にもわかりやすく解説する。また、近未来のロボット・AIとその技術的課題や法規制について解説する。					
後半7回の講義は、山本が担当する。近代に始まり現代へと発展してきた機械工学は、今や現代社会の基盤を支える重要な科学技術となっている。自動車や航空機の設計・製造に必要な機械工学の基礎を学び、その機械工学を医学・医療に応用した生体工学(バイオエンジニアリング)について、文社系学生にもわかりやすく解説する。					
授業実施形態は、第3回以外は対面授業とし、第3回はWeb授業(Zoom)とする。					
授業実施形態をWeb授業(Zoom)などに変更する場合は、moodle+Rで事前に連絡する					
【受講生の到達目標】					
前半7回の講義では、ロボット・AI技術の産業界や社会での利用状況を理解すること、および未来社会におけるロボット・AI技術の利活用のあり方についての自身の考えが持てるようになることを目標とする。					
後半7回の講義では、我々が日常的に使っている機械や医用材料・医療機器が、いかに安全に設計されているかを理解することを目標とする。					
【成績評価方法】					
・前半7回の授業では小テストを、後半7回の授業では小テストとレポート課題を実施する。					
・評価比率は、前半7週を50%、後半7週を50%とする。					
【授業外学習の指示】					
科学・技術に関して授業をとおして興味を感じたり、疑問に思うことがあれば、インターネットなどで調べ、関連知識を整理しながら自分なりの考え方を身に付けるようにすること。					
【受講および研究に関するアドバイス】					
科学は遠くにある難しいものではありません。身近なところにある科学技術に興味を持ち、自分でも実際に触れたり調べたりしてみましょう。					
<授業スケジュール>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	4月7日	ロボットのルーツ:神話/伝承/戯曲, ロボット三原則, からくり人形, 漫画/アニメ/映画			
2	4月14日	AIの歴史:第1次～第3次AIブーム, ニューラルネットワーク, ディープラーニング			
3	4月21日	ロボットの基礎:産業用ロボット, 協働ロボット, サービスロボット, ドローン			
4	4月28日	AIの基礎:推論モデル, Deep Research, AIエージェント			

5	5月12日	産業界におけるロボット・AI:ヒューマノイドロボット, デジタルツイン, 自律走行搬送ロボット(AMR)
6	5月19日	社会実装されるロボット・AI:医療AI(画像診断支援AI, 手術支援ロボット/AI, 創薬AI), 自動運転車
7	5月26日	未来社会とロボット・AI:エッジAI, サイボーグ, AGIとASI, シンギュラリティ, AI倫理・AI法
8	6月2日	機械工学と生体工学の概説:機械工学, 生体工学(バイオエンジニアリング)
9	6月9日	機械を作るために必要な摩擦と力学:摩擦, 材料力学, 流体力学, 熱力学
10	6月16日	機械を作るために必要な設計・製図:日本産業規格(JIS), 機械製図, CAD(コンピュータ支援設計)
11	6月23日	生体工学(バイオエンジニアリング)の概説:バイオメカニクス(生体力学), バイオマテリアル(生体材料), 細胞, 組織, 器官, 腱・靭帯
12	6月30日	関節と人工関節:膝関節, 股関節, 骨, 軟骨, コラーゲン, プロテオグリカン, 人工関節
13	7月7日	血管と人工血管:動脈, 静脈, 高血圧, 動脈硬化, 血栓, 人工血管
14	7月14日	心臓と人工心臓:心室, 心房, 心臓弁, 補助人工心臓, 完全人工心臓
	月 日	

<教科書・参考書>

【教科書】

講義で使用する資料 をmoodle+RIに事前掲載する。

【参考書】

科学の発見/S. ワインバーグ/文芸春秋/978-4-16-390457-3

AI×ロボット革命/新井亨, 鄭剣豪/カナリアコミュニケーションズ/978-4-7782-0528-7

生成AIで世界はこう変わる/今井翔太/SBクリエイティブ/978-4-8156-2297-8

機械設計法/日本材料学会編/日本材料学会/978-4-901381-01-7

生体機械工学/日本機械学会編/日本機械学会/4-88898-081-0

バイオメカニクス/林紘三郎/コロナ社/4-339-04348-6

生体材料学/日本機械学会編/オーム社/4-274-12922-5

【参考になるwwwページ】

講義中のキーワードなどで興味があればどんどん検索して、深掘りしてみましょう。一つのサイトの情報を鵜呑みにするのではなく、いくつかのサイトの内容を比較しながら知識を得ること。

科目番号	44	科目名	スポーツマネジメント概論 (V)		
英 文 科 目 名	Introductory Sports Management (V)				
大学・短期大学名	立命館			大学	
連 絡 先	〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1				
	TEL :	077-561-4972		FAX :	077-561-3935
担 当 教 員	長積 仁 (スポーツ健康科 学部 教授)				
実 施 方 法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用				
教 室 名	コラーニングハウス I C305	会場	立命館大学BKC(びわこ・くさつ)キャンパス		
授 業 期 間	2026 年 10 月 1 日 (木) ~ 2027 年 1 月 7 日 (木) <毎週 木曜日> 4 時限・講時 14 : 55 ~ 16 : 30				
超過時の選考方法	出願票に記載の志望理由による選考				
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)				%
	レ ポ ー ト 試 験 (期 末)				%
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)	100			%
	そ の 他 ()				%
別 途 負 担 費 用	なし あり()円				
そ の 他 特 記 事 項	+R授業 オンデマンド教材を用い、この授業のねらいや授業計画、また評価に関するガイダンスを行う。詳細はmoodle+Rを参照。				
<講義概要・到達目標>					
【講義の概要と方法】					
スポーツマネジメントとは、スポーツ組織の使命や目的を達成するために行われる人間の活動であり、同時に人々のスポーツライフの質を高め、文化としてのスポーツを振興するために人間の英知を結集させた営みのことである。本講義では、「する・みる・ささえる・つくる」といった人とスポーツのかかわりの多面性を考慮し、公共機関から営利目的の企業までを事例に上げながら、人・組織・社会とスポーツの関係をデザインするために必要な視座に対する理解を深め、それを実践の場で活かすための基礎知識を身につけることを目的とする。					
【到達目標】					
①スポーツマネジメントの基本的な考え方・基礎知識を習得することができる。					
②スポーツマネジメントが必要とされる多様な領域に対する理解と関心を深めることができる。					
③授業で培った基礎知識を、様々な状況下で適用・応用することができる。					
【授業の方法】					
授業は講義が中心であるが、毎回、授業内容に関する感想・批判・意見・質問を200字程度で提出してもらう。それらの感想を用いて、授業の復習及び授業内容に対する理解を促す。					
【成績評価方法】					
授業で扱った基本概念や用語の説明、授業で学んだ知識を実社会や想定した状況下において、適用・応用できるかを判断するためのレポート課題の提出を、授業内容に沿って、随時、求める。また授業内試験を実施する。課題及び試験の採点基準は、内容の正確性、文章の構成と論理性に重点を置く。ただし、成績評価の対象は、10回以上の出席をした受講生に限る。					
【受講および研究に関するアドバイス】					
まず、時間と期限と約束を守ること。次に、授業中に私語をして周りに迷惑をかけたたり、携帯通信機器の使用や居眠りをして授業の雰囲気や崩したりするような、授業に対して緊張感が保てない学生の受講は認めない。授業では、特別な予備知識は要求しないが、大学での学び方は受け身ではなく、より積極的な態度と行動が求められる。これまで培ってきた「教えてもらう」という受け身の姿勢から脱皮し、何事に対しても「自ら調べ、考え、探究する」という自発的な姿勢を身に付けてほしい。書籍・雑誌・新聞などを用いて、授業に関連するトピックや事象にかかわる情報収集、理解を深める努力をすること。					

<授業スケジュール>

回	月日	テーマ・キーワード
1	10月1日	スポーツマネジメントの視座:組織の成果を意識したマネジメントの基礎知識
2	10月8日	Society 5.0時代におけるスポーツビジネスの潮流:スポーツビジネスを再定義する
3	10月15日	スポーツプロダクト:スポーツの魅力と価値とは?
4	10月22日	サービスマネジメント:サービスの特質とサービスをデザインする考え方
5	10月29日	世界を動かすスポーツマーケティング
6	11月5日	経営戦略について考える
7	11月12日	スポーツ組織のマネジメント1:組織の構造化
8	11月19日	スポーツ組織のマネジメント2:組織の“らしさ”を形づくる
9	11月26日	スポーツ政策の視座:「スポーツ権」を保障する法規と政策
10	12月3日	社会課題と向き合うスポーツ政策
11	12月10日	自助・共助・公助で育む地域スポーツクラブ
12	12月17日	運動部活動の適正化と学校・地域が連携したクラブ化の推進
13	12月24日	スポーツによる地方創生とまちづくり
14	1月7日	授業総括:確認テスト(60分)・授業の振り返り
15	月日	

<教科書・参考書>

【参考書】

『スポーツマネジメント』原田宗彦・小笠原悦子 著(大修館書店 978-4-469-26669-6)

『図とイラストで学ぶ新しいスポーツマネジメント』山下秋二・中西純司・松岡宏高 著(大修館書店 978-4-469-26804-1)

『スポーツ産業論第7版』原田宗彦 著(杏林書院 978-4-7644-1596-6)

『よくわかるスポーツマネジメント』柳沢和夫・清水紀宏・中西純司 著(ミネルヴァ書房 978-4623080144)

上記の書籍は、授業内容の理解を深めるために役立つものであり、また授業内でカバーしきれない内容についての興味・関心を促すものである。

科目番号	45	科目名	薬学概論(Y)		
英文科目名	Introduction to Pharmacy (Y)				
大学・短期大学名	立命館			大学	
連絡先	〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1				
	TEL :	077-561-4972		FAX :	077-561-3935
担当教員	土肥 寿文 ほか10名 (薬学部 教授)				
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用		
教室名	フォレストハウス F203	会場	立命館大学BKC(びわこ・くさつ)キャンパス		
授業期間	2026年4月7日(火)～2026年7月14日(火) <毎週 火曜日> 1 時限・講時 9 : 00 ～ 10 : 35				
超過時の選考方法	出願票に記載の志望理由による選考				
成績評価方法	定期試験(筆記)				%
	レポート試験(期末)				%
	平常点(出席・授業態度)	100			%
	その他()				%
別途負担費用	なし あり()円				
その他特記事項	+R授業対象科目。初回に+R授業を実施。詳細はmoodle+Rを参照。				
<講義概要・到達目標>					
【授業の概要と方法】					
薬学部薬学科に入学した学生に対する「導入科目」と位置づけ、6年間の学び全般について概説する。まず「薬学とは何か」、「薬学科6年制の意味するところ」、「薬学科での学びの全体像」について説明する。そして、「生命の尊厳」、「医療倫理」、「生命倫理」、「薬とは何か」、「どのように作用するか」、「薬は体内でどのような運命をたどるか」、「薬剤師の職務・責任、活動分野」、「薬害」、「医薬品の開発」、「チーム医療とコミュニケーション」、「医薬品開発」、「治験」、「社会保障と保険医療」、「薬剤師として求められる資質」などについて概説する。					
【到達目標】					
生命・医療に係る倫理観を身に付け、医療人としての感性を養い、様々な倫理的問題や倫理的状況において主体的に判断し、プロフェッショナルとして行動する。B-1-1-1)					
医療の担い手として、必要な知識・技能の修得に努め、自身の職業観を養い、生涯にわたり学び続ける価値観を形成する。B-1-1-3)					
薬剤師の社会的使命、法的責任、遵守すべき行動規範を理解し、患者・生活者の健康な生活を確保するという薬剤師の任務と責任を自覚する。B-1-3-1)					
薬剤師の任務を適正に遂行するために必要な法規を理解し、薬剤師の業務と関連付けて説明する。B-1-3-2)					
医薬品等による健康被害の重大性や被害者本人、家族等の全人的苦痛について理解し、薬害や医療事故防止に薬剤師が果たすべき役割や責任の重要性を説明する。B-1-3-3)					
患者・生活者の心理、立場、環境、状態に配慮し、非言語コミュニケーションを含めて適切なコミュニケーションを図り、良好な人間関係を構築する。B-2-1-1)					
医療、保健、介護、福祉に関わる他の専門職の職能について理解し、多職種連携における薬剤師の役割や専門性について説明する。B-2-2-1)					
社会保障制度の考え方とその枠組みを説明する。B-3-2-1)					
社会保障制度の下で提供される医療、介護、福祉の体制と仕組み及び関係する機関・職種の役割を理解し、薬剤師に求められる役割を説明する。B-3-2-2)					
医療保険財政が抱える課題について理解を深め、医療保険制度の維持・存続における行政、関係機関・職種、国民の役割を説明する。B-3-3-1)					
医薬品の創製から承認、市販後までのライフサイクルを理解し、医薬品の開発過程とその体制について説明する。B-4-1-1)					
医薬品開発に係る臨床研究について、法規制、制度、仕組みを説明する。B-4-1-2)					
医薬品開発を取り巻く国内外の動向を知り、医薬品の開発が世界レベルで進められており、国際的な状況が日本の医療に直接影響することを説明する。B-4-1-3)					
薬害の歴史とその社会的背景について理解を深め、薬害を発生させないための行動を認識し、責任を自覚する。B-4-2-3)					
医薬品及び医薬品原料としての生薬について、代表的な生薬の基原、特徴、用途、成分及び確認試験、品質評価法等の基本的事項を説明する。C-5-1-1)					

医薬品の化学構造の特徴と、標的となる身体の仕組みや分子との関連をもとに、薬の作用メカニズムや作用様式を説明する。D-1-1-2)

薬物の物理化学的性質と生体の構造及び機能から、生体内の薬物動態を説明する。D-4-1-1)

固形製剤、半固形製剤、液状製剤など、様々な製剤を作成するために必要な製剤材料の種類と物性と関連する基本的理論について説明する。D-5-1-1)

【成績評価方法】

レポート(3回)を提出する(75%)。

14回目に理解度を確認する試験または、これに替わるものを実施する(25%)。

【授業外学習の指示】

薬学部での学びの全体像を把握できるように講義を行う予定である。医療人である薬剤師等を目指す自覚を持ち、責任感を身につけ、また自らが問題点を探し(課題探求)、自らその解決策を考える(課題解決)態度を身につけるようにして欲しい。

【受講および研究に関するアドバイス】

健康、命、くすり、薬剤師、などに関する新聞やテレビなどの記事、ニュース、特集などは興味を持って読んでもらいたい。

【参考になるwwwページ】

薬学教育モデル・コアカリキュラムと本学薬学部科目との対応表
(https://ct.ritsumeai.ac.jp/ct/page_4654070c1728182_3759943156)

<授業スケジュール>

回	月日	テーマ・キーワード
1	4月7日	薬学とは何か、薬学の歴史、薬剤師の誕生と変遷、薬学科6年制の意味、薬学モデルコアカリ、薬学部での学びの全体像
2	4月14日	生命の尊厳、ヒューマニズム、人の誕生・成長・加齢・死の意味、生と死に関わる倫理的問題
3	4月21日	生命倫理、生命観の変遷、生命倫理の諸原則(自立尊重、無危害、善行、正義など)
4	4月28日	薬とは何か、薬の発見の歴史、薬物療法の歴史、天然生薬、合成医薬品、薬の化学的な性質
5	5月12日	薬の作用するプロセス、主作用と副作用、薬とリスク、薬の作用するプロセス、医薬品開発の標的となる代表的な生体分子
6	5月19日	医薬品開発のプロセス、医薬品の開発から承認まで、古典的な医薬品開発から先端的創薬へ
7	5月26日	医薬品の創製と治験、研究開発、治験、臨床研究と倫理(ヘルシンキ宣言等)
8	6月2日	体内での薬の運命(薬物動態)、体内動態(吸収、分布、代謝、排泄)、薬物の投与方法(剤形、投与経路)
9	6月9日	薬剤師の活動分野、医療機関、薬局、製薬企業、衛生行政、医薬品の適正使用
10	6月16日	薬剤師の職務と責任、薬剤師の倫理規範(薬剤師綱領、薬剤師倫理規定など) 医薬分業、チーム医療、地域社会との関わり、在宅医療と薬剤師、薬と法律
11	6月23日	薬害、代表的な薬害(サリドマイド、スモン、非加熱血液製剤、ソリブジン等)、医療過誤・インシデント、薬物乱用防止、薬物依存
12	6月30日	チーム医療とコミュニケーション、各職種と行政の役割、リスクマネジメント、生涯学習
13	7月7日	社会保障と医療保険、社会保障制度、医療保険制度、地域医療、国民医療費の動向
14	7月14日	薬剤師と資質、総括、薬剤師として求められる資質、将来の薬剤師と薬学の役割、医療人としての姿勢、医療人としてのやりがい、総括

<教科書・参考書>

【教科書】

教科書は指定しないが、プリント(レジュメ)、参考資料を適宜配布する。

【参考書】

『薬学教室へようこそ』 二井将光 著 (講談社 978-4-06-257931-5 (ブルーバックス))

『薬学へのいざない』 鎌滝哲也 著 (東京化学同人 978-4-8079-1289-6)

【備考】

『薬学教室へようこそ』(二井将光著)は、事前に読むことを強く薦める。

個々のテーマに関する参考書等については随時、紹介する。

科目番号	46	科目名	経済学特殊講義Ⅱ(金融・証券分析基礎)(E)		
英文科目名	Topics in Economics II Introduction to Financial Analysis(E)				
大学・短期大学名	立命館		大学		
連絡先	〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1				
	TEL :	077-561-4972	FAX :	077-561-3935	
担当教員	三好 秀和		(経済 学部 招聘教員)		
実施方法	対面授業		遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名	ラル万ディアR201	会場	立命館大学BKC(びわこ・くさつ)キャンパス		
授業期間	2026年8月24日(月)～2026年8月28日(金) <夏集中講義Ⅰ> 時限・講時 10 : 45 ~ 16 : 30				
超過時の選考方法	出願票に記載の志望理由による選考				
成績評価方法	定期試験(筆記)				%
	レポート試験(期末)				%
	平常点(出席・授業態度)	100			%
	その他()				%
別途負担費用	なし		あり()円		
その他特記事項					

<講義概要・到達目標>

【授業の概要と方法】

今年から授業方法と内容を変更する。講義形式で行うが確実に身に付けてもらうため単元ごとに演習問題を解いてもらい自己採点をおこなってもらう。質問は都度受け付け、受講生の共有財産とする。

内容は証券アナリスト一次試験の基礎となる内容であるが基礎的な知識や陥りやすい疑問を含めて解説するので本格的にアナリストを目指す学生には特に有意義である。

さらに本講義の内容は金融リテラシー向上のために有意義である。企業では社内教育や福利厚生の一環として金融教育を人事総務部が行っている。それは退職金として確定拠出年金制度が導入され自己責任のもと従業員がしているからだ。つまり、退職金の額は自分の運用能力しだい決定する。

このようにこの講義はリテラシーに有用であるというだけでなく、上場会社ではM&Aが最大の投資となっていることから本講義の知識が実はM&Aの基礎となるため、アナリストを目指す学生だけでなく、インベストメントバンキング部門の金融機関や一般事業法人の経営企画部門、IR部門の担当者を目指す学生にとっても有用である。

就職活動を通じて企業と接点をもつことになる学生がここでの学習を元に企業活動の実態を理解する上で役立つ。企業とは何か、その活動を支える資本市場の意義を理論と実例から学び次世代を担う人材となり有意義な人生をおくってほしい。

【受講生の到達目標】

- 1.金融・証券分析の基礎知識を学ぶことができる。
- 2.企業の行動原理を理解することができる。
- 3.現実のトピックスを通して企業活動のダイナミズムを実感できる。

【成績評価方法】

日常的な授業における取組状況の評価45%(授業に積極的に参加したり卓越した発言などは加点することがある。)とレポート課題55%で決定する。レポートは授業中に開示する。

【事前に履修しておくことが望まれる科目】

基礎的な学習から行う。確実に知識を定着するために授業の中で復習をおこなう。講義では理論的な内容(理論がどのように実際にいかされているか)を講義する。その後、経済新聞の読み方について講義をおこなう。特に就職活動を取り組んでいる学生には企業選択をする目を養成できるような講義であるので、身近に考える習慣をもって望んでほしい。

【授業外学習の指示】

復習に重点を置いて学習してもらいたい。授業は現代投資理論の基づいた世界標準の内容である。授業で内容の理解度の確認のためQAを設定している。講義を聴くだけでは自分の実力とはならない。手を動かし、電卓をたたいて初めて習得できるものと心得る。

【受講および研究に関するアドバイス】

積極的に努力し復習することを奨励したい。経済や金融は現実の世界で動いている。日々変動する金融理論は机上の空論ではない。また、就職時期になって対策を立てるようなことでは心もとない。経済の基礎的な知識は大学生の早い時期にしっかりと身に付けておくことで視野を広げる意味でもよい。

<授業スケジュール>

回	月日	テーマ・キーワード
1	8月24日	(1)株式の意義 バランスシート上の株式、上場することの意義、経営者にとって株主の存在とは何か、株式の法的な意義とは何か、株価はどうすれば上昇するか、株価はどのように決定するか。 (2)株式市場と株価の決定理論 株式の評価、DDM、収益率、効率的市場仮説、予測と情報、EPS、PER、PBR。 (3)株価の決定理論と周辺知識 金利と将来価値、単利と複利、期待リターンとリスク、資産評価、DCM、定率成長キャッシュフローの評価。
2	8月25日	(4)債券とは何か 債権と債券、バランスシート上の債券の意義、債券の仕組み、種類、発行体、期間と格付。 (5)債券の理論価格 債券の利回りと価格の関係、債券の理論価格、イールドカーブ、残存期間の短長とクーポンの大小の価格への影響。 (6)債券投資分析 マコーレーのデュレーション、修正デュレーション、コンベクシティの意味。
3	8月26日	(7)デリバティブとは デリバティブとは、評価の基本、先渡取引と先物取引の仕組み、裁定取引。 (8)オプション取引 オプション取引の仕組み、制度と種類、コールとプットのそれぞれの損益曲線、本源的な価値と時間価値。 (9)デリバティブの投資戦略 ヘッジ、リスクテイキング、アービトラージ。 (10)現代ポートフォリオ理論1
4	8月27日	証券投資のリスクとリターン、効用関数、リスクに対する態度、平均分散アプローチによる効用関数。 (11)現代ポートフォリオ理論2 複数資産による分散効果、効率的フロンティアの特徴、資産最適化、安全性資産を含むポートフォリオと分離定理。 (12)現代ポートフォリオ理論3 資本資産評価モデルと市場ポートフォリオ、市場ポートフォリオの有用性、資本市場線、証券市場線。
5	8月28日	(13)資産運用の実践1 投資政策とポートフォリオマネジメントのプロセス、ポリシーアセットミックス、資産クラスの期待リターンとリスク、リバランス。 (14)資産運用の実践2 機関投資家の運用方法、年金運用と資産運用、ESG投資とスチュワードシップコード。個人投資家の資産運用、リスク許容度、ライフサイクル、リスク測定の考え方、ベンチマーク。

<教科書・参考書>

【参考書】

『新版ファンドマネジメント大全』三好秀和編著(同友館 9784496055874)

多くの運用会社で利用されている実務書である。学生には運用会社の業務内容を知る上で有益であるが参考程度で購入する必要はない。高額なため図書館で貸し出しを受けるのがよい。

【備考】

ハーバードでは「今あなたは眠って夢を見ることができる。しかし、眠らずに今勉強すれば近い将来、夢を実際に見ることができる」と学生たちの間で話題となっている。24時間勉強する必要はないが授業に集中すべきだし、自宅で勉強できなければ授業に出席すべきである。成績と授業出席率は相関関係が成立している。

科目番号	47	科目名	特殊講義(教養E) I (アントレプレナーシップと事業創造)(T)		
英文科目名	-				
大学・短期大学名	立命館		大学		
連絡先	〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1				
	TEL :	077-561-4972	FAX :	077-561-3935	
担当教員	高山 茂、藤田 勝利 (理工 学部 教授)				
実施方法	対面授業		遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名	フォレストハウス306	会場	立命館大学BKC(びわこ・くさつ)キャンパス		
授業期間	2026年10月1日(木)～2027年1月7日(木) <毎週木曜日> 5 時限・講時 16 : 40 ~ 18 : 15				
超過時の選考方法	出願票に記載の志望理由による選考				
成績評価方法	定期試験(筆記)				%
	レポート試験(期末)				%
	平常点(出席・授業態度)	100			%
	その他()				%
別途負担費用	なし		あり()円		
その他特記事項	+R授業対象科目 詳細はmoodleを参照 オンデマンド(担当講師:藤田勝利) 内容:本授業受講に際してのガイダンスなど				
<講義概要・到達目標>					
【授業の概要と方法】					
「起業」「スタートアップ」「新規事業立ち上げ」というテーマに関心を持つ学生向けに、基本的な「マインドセット(考え方)」と「思考スキル(技法)」を体系立ててわかりやすく伝える授業です。					
日本の成長戦略においてスタートアップの育成は最重要課題の一つとされ、国としてスタートアップへの投資額を大幅に増やす動きも本格化しています。そのため今日、起業やスタートアップでのキャリアを目指すことは重要かつ現実的な選択肢の一つとなります。各大学でもそれに呼応する動きが活発化しており、本学においては2025年7月にBKCに開設された「グラスルーツ・イノベーションセンター(GIC)」において、総合知による課題解決・事業化の推進とそれに関わる人材の育成を実施しようとしています。本講義はそのGICでの新たな取り組みの第一段階目のプログラムに当たります。					
受講生は理論的な知識を学ぶだけでなく、卒業生起業家を中心とした実践者(ゲスト)の話を聞いたり質問したりすることで、起業やスタートアップでの仕事がどのようなものか具体的なイメージを掴みます。また、実際にプロジェクトを組成してビジネスアイデアプレゼンの演習をし、フィードバックを得る機会も提供されます。低回生且つビジネス専攻ではない受講生にとってもわかりやすく「アントレプレナーシップ(起業家精神)」と「事業創造」の要点を学べる内容である一方で、実際のアイデアを形にする経験をしたいという学生にとっても構想の整理とアウトプットに役立てられる内容です。					
授業スタイルは知識や理論を身につける講義、ゲストスピーカーの講話、対話やグループディスカッション、発表など多様な形態を融合的に採用します。					
【受講生の到達目標】					
①「アントレプレナーシップ(起業家精神)」とは何か、授業での学びを通じて自身で明確なイメージを持つようになる。					
② アントレプレナーシップを大学生活でも強く意識することで、日々の充実度や出会い、学び、得られる成果が大きく変わることを実感する。					
③ 新事業のアイデアを発見し、大まかな事業構想を形にする上で必要な考え方や技法の基本を学び身につける。					
④ 収益性だけでなく、社会の課題を解決する「インパクト」の大きいビジネスを構想するために特に求められる着眼点も学ぶ。					
⑤ 教員、ゲスト講師、他の受講生とディスカッション・対話をする中でコミュニケーションの能力も向上させる					
【授業実施形態】					
原則的に、全回の講義を現地/対面で開催する。ただし、一部ゲスト講師の都合によりオンラインでの登壇となる可能性もある。					

【授業外学習の指示】

アントレプレナーシップ、新事業創造の知識面については、短時間の講義で要点を押さえる内容となるため、受講生は授業後に興味・関心のあるテーマについて自身で参考文献や事例を学ぶなどすることで自身で理解を深めることが望ましい。

また、プレゼンテーションを実施する受講生は、準備は授業外で時間を確保して行う必要がある。

【成績評価方法】

60%(平常点):各授業回において、出席の確認および、授業後に短いレポートまたはコメントシートを課す。また、授業中のディスカッションやプレゼンテーションなどでの積極的な参加姿勢、取り組み状況も成績評価に反映する。

40%(最終レポート):14回の授業終了後に期間を指定して出題するレポート課題において、授業到達目標の基準に則り、学習度・理解度を評価する。

※授業の内容に鑑み、4回を超える欠席の場合は、評価が難しくなる旨を理解されたい。

【受講および研究に関するアドバイス】

受講に際し、ノートPC持参が必須となる回がある。講師または事務局から指示あった場合は、当日必ずPCを持参して授業に参加すること。

【担当者の実務経験について】

総合商社、コンサルティングファーム、スタートアップ企業での実務経験を有する教員が、理論と実例を交えて講義する。

<授業スケジュール>

回	月日	テーマ・キーワード
1	10月1日	イントロダクション ～本授業の目的と全体像～ 本授業の概要、アントレプレナーシップと事業創造の基本とそれらを学ぶ意義
2	10月8日	起業家精神と自己理解 ～自分の目的や感情を知り起業に活かす方法～ 起業家精神発揮を醸成するために、「自分はどのような人間で何をやりたいか」という問いに自ら答えを出していく必要がある。ゲストと対話をしながら、起業家のリーダーシップ・内面について実践者の話を聞く。
3	10月15日	社会課題を解決するビジネスとは ゲストとしてソーシャルイノベーション(社会的にインパクトのあるイノベーション)の実践者を招き、社会課題を解決する「インパクト」の大きいビジネスを生むための考え方、発想、先進事例を対話を通じて学ぶ
4	10月22日	起業家精神(アントレプレナーシップ)を磨くために 起業家精神を磨き高めるためにどのような行動様式が求められるか、ゲストの話を聞き、理解を深める。
5	10月29日	社会の課題を解決するビジネスをどう構想するか 総合知を駆使して、社会課題を解決する有望な事業機会をどのように発見するか。その考え方を学びながら、ディスカッションを通じて理解とイメージを深める。
6	11月5日	起業とビジネスチャンスの発見 起業実践者がどのように事業機会を発見し、どのような成功と失敗を通じてその機会と実現可能性を研ぎ澄ましているか。話を聞き、対話することでイメージを掴む。
7	11月12日	イノベーションにつながる機会発見～発想と着想～ イノベーション(不連続な新価値)を生むための発想方法について学び、事例に関するディスカッションを通じてビジネスに不可欠な「新たな顧客価値の創造」について理解を深める。
8	11月19日	ビジネスモデルとは何か～着想からモデルへ～ 事業機会に関するアイデアを持続的な利益を生み出すための「ビジネスモデル」に転換するための原則的な考えと汎用的なフレームワークを学ぶ。
9	11月26日	起業とビジネスモデル(1) 起業/新規事業実践者の話を聞きながら、そのビジネスモデルを読み解き、受講生自らが新たなビジネスモデルの提案ができるよう練習する。
10	12月3日	起業とビジネスモデル(2) 前回到引き続き、起業/新規事業実践者の話を聞きながら、そのビジネスモデルを読み解き、受講生自らが新たなビジネスモデルの提案ができるよう練習する

11	12月10日	ビジネスアイデアを「ストーリー」で語る ここまで学んだことを総動員し、社会の課題を解決するインパクトのある新規事業アイデアとビジネスモデルを「ストーリー」として共感と信頼を得られる形で伝える方法論を学ぶ。
12	12月17日	ビジネスアイデアのピッチとフィードバック(1) 受講生有志による事業アイデアピッチを聞き、これまで本講義で学んできたことを活用し、価値あるフィードバックを伝える。プレゼンター側になる学生も、フィードバックする側になる学生も、共に重要な学びを得る。教員とゲスト講師も、フィードバックを伝える。
13	12月24日	ビジネスアイデアのピッチとフィードバック(2) 前回に続き、受講生有志による事業アイデアピッチを聞き、これまで本講義で学んできたことを活用し、価値あるフィードバックを伝える。プレゼンター側になる学生も、フィードバックする側になる学生も、共に重要な学びを得る。教員とゲスト講師も、フィードバックを伝える。
14	1月7日	授業の総括と起業家的キャリア展望 本授業の全体統括を行い、授業の到達目標に照らして理解度を確認する。また、講義での学びを一時的なものに留めず、今後の学生生活やキャリア決定でどう活かしていくべきか、深くイメージする。課題レポート内容についても発表する。
<p><教科書・参考書></p> <p>なし</p>		

科目番号	48	科目名	植物生理・生化学 I																			
英文科目名	Plant Physiology and Biochemistry I																					
大学・短期大学名	龍谷		大学																			
連絡先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5																					
	TEL :	077-543-7739	FAX :	077-543-7674																		
担当教員	古本 強		(農 学 部 教 授)																			
実施方法	対面授業		遠隔授業	対面・遠隔併用																		
教室名		会場																				
授業期間	2026 年 9 月 30 日 (水) ~ 2027 年 1 月 20 日 (水) <毎週 水曜日> 1 時限・講時 9 : 15 ~ 10 : 45																					
超過時の選考方法	書類選考																					
成績評価方法	定期試験 (筆記)	50	%																			
	レポート試験 (期末)		%																			
	平常点 (出席・授業態度)	15	%																			
	その他 (小テスト・レポート)	35	%																			
別途負担費用	なし		あり () 円																			
その他特記事項	<p>高校で生物学と化学を履修していない人は、講義に並行して生物学基礎の受講、高校生物、化学の自習を薦めます。</p> <p>授業の最後に、授業資料の視聴を確認するために実施するアンケートへの参加状況をもって出席とし、この評価をもって授業の2/3以上出席した者を最終評価の対象とします。</p>																					
<p><講義概要・到達目標></p> <p>【講義概要】 近年の分子生物学、細胞生物学、結晶構造学の急速な進展により、植物における多くの重要な生理生化学的現象が分子レベルで理解できるようになりました。本講義では、「生きている」ということを「(細胞の活動エネルギーとなる)ATPを生産できる」という観点から捉え、主に植物がどのようにATPを生産しているのかを中心に、細胞レベル・タンパク質レベル・分子レベルの複数のレベルで、多角度から解説します。</p> <p>最初に細胞構造を解説し、ついで、各種の代謝について基礎的な事項から解説し、後半では特に生命現象を示す分子レベルでの事象(タンパク質の構造変化と機能の相関)を中心に、代謝の制御機構に触れつつ、できるだけ平易に講述します。</p> <p>【到達目標】 まず、全ての生命の最小単位である「細胞」を理解することを目指します。ついで、細胞機能を支える代謝や膜の機能を理解し、多くのタンパク質の機能やその調節機構を認識することで、生命現象が精緻で巧妙な分子機構に基づいていることを学びます。植物の基本機能である光合成や呼吸などの生化学的現象を分子レベルで説明できるようになることを目標とします。</p> <p>【講義方法】 パワーポイントでの講義が中心です。必要最低限の資料はプリントアウトし、配布します。授業の振り返りをアンケートとして回収して、そのアンケートの中から理解が不足している点などを追加で説明するなど、十分に授業についてきているかをモニターしながら進めます。</p> <p>【授業外学習(自主学習(事前・事後学習を含む))の指示】 配布プリントに必要事項を記入し、それを復習すること。復習の助けとして、講義動画を授業期間限定で公開します。質問はmanabaの公開期間に受け付けます。</p> <p><授業スケジュール></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>月日</th> <th>テーマ・キーワード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>9 月 30 日</td> <td>ガイダンス 生理生化学とは</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10 月 7 日</td> <td>代謝概論 各種反応論</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10 月 14 日</td> <td>代謝研究法</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10 月 21 日</td> <td>解糖系(1) グルコースからピルビン酸</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>10 月 28 日</td> <td>解糖系(2) ピルビン酸の行方</td> </tr> </tbody> </table>					回	月日	テーマ・キーワード	1	9 月 30 日	ガイダンス 生理生化学とは	2	10 月 7 日	代謝概論 各種反応論	3	10 月 14 日	代謝研究法	4	10 月 21 日	解糖系(1) グルコースからピルビン酸	5	10 月 28 日	解糖系(2) ピルビン酸の行方
回	月日	テーマ・キーワード																				
1	9 月 30 日	ガイダンス 生理生化学とは																				
2	10 月 7 日	代謝概論 各種反応論																				
3	10 月 14 日	代謝研究法																				
4	10 月 21 日	解糖系(1) グルコースからピルビン酸																				
5	10 月 28 日	解糖系(2) ピルビン酸の行方																				

6	11月4日	電子伝達系と酸化的リン酸化
7	11月11日	クエン酸回路と他の代謝とのつながり
8	11月18日	代謝の調節と制御
9	11月25日	光合成(1) 光受容
10	12月2日	光合成(2) 光化学系と電子伝達
11	12月9日	光合成(3) 炭素代謝
12	12月16日	光合成(4) C4光合成とCAM型光合成
13	12月23日	物質輸送 輸送タンパク質
14	1月13日	輸送タンパク質のエネルギー収支
15	1月20日	全体のまとめと展望

<教科書・参考書>

【教科書】

高橋裕一郎、園池公毅、古本強 『光合成』（朝倉書店）3,600円（ISBN:9784254171761）
 高校での生物未履修者にも対応しますが、どうしても難易度が高くなる部分があります。高校生物の資料集や参考書を授業前に読み込んでおく予習を勧めます。オフィスアワーを利用して質問等を受け付けます。

【参考書】

三村徹郎、深城英弘、鶴見誠二 『植物生理学』（化学同人）3,400円（ISBN:9784759819977）
 HansWater Heldt（金井龍二 訳）『植物生化学』（Springer）8,600円（ISBN:443170857X）
 D・サダヴァ 『大学生物学の教科書 第1巻 細胞生物学』（Blue Backs）1,300円
 (ISBN:9784062576727)
 芦原坦・加藤美砂子 『代謝と生合成 30講』（朝倉書店）3,400円（ISBN:9784254177152）
 参考資料としてプリントを配布する。

科目番号	49	科目名	食と嗜好の科学	
英文科目名	Food Science in palatability			
大学・短期大学名	龍谷		大学	
連絡先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5			
	TEL :	077-543-7739	FAX :	077-543-7674
担当教員	山崎 英恵 他3名 (農 学部 教授)			
実施方法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用			
教室名		会場		
授業期間	2026年9月21日(月)～2027年1月18日(月) <毎週月曜日> 2 時限・講時 11 : 00 ~ 12 : 30			
超過時の選考方法	書類選考			
成績評価方法	定期試験(筆記)	50	%	
	レポート試験(期末)		%	
	平常点(出席・授業態度)	30	%	
	その他(小テスト)	20	%	
別途負担費用	なし		あり()円	
その他特記事項	定期試験の受験には、2/3(10回)以上の出席を要する。			
<講義概要・到達目標>				
【サブタイトル】 味わいの受容と食嗜好形成について				
【講義概要】 食べ物に対する嗜好性は、食糧生産から食品開発や外食産業まで、食に関わるすべてにおいて重要な要素となっています。人々の普段の食事はもちろん、離乳食、病院食、介護を必要とする人々の食、学校給食、アスリートの食など、様々に制限のある食事の局面においても、人々の生活の質(QOL)を左右する鍵を握っています。また、食料自給率の維持・向上や食の伝統・文化の問題の根底にも、食の嗜好性が深く関わっています。本科目では、主に生理学・感覚科学の視点で、味覚・嗅覚・食感、食欲調節と満足感などの生理的側面・食の文化としての側面、食に関わる様々な情報の影響、現代社会において食の関わる諸問題と食嗜好の関係について解説します。さらに、本講義はプロの料理人かつ研究者である3人の講師により、日本料理(京料理)のフィルターを通じて人の食や嗜好に関わる多面的かつ具体的な内容の講義を展開し、食と嗜好に関する理解を更に深めていきます。				
【到達目標】 1.味覚や嗅覚、食感など感覚要因の基礎知識を習得する。 2.食品選択や嗜好性に影響を与える様々な要因を理解する。 3.食文化・伝統的な食の知識を習得する。 4.日本の外食・食品産業における実践的な知識と科学的知識の応用可能性を考察できる。				
【講義方法】 スライドを用いた講義				
【授業外学習(自主学習(事前・事後学習を含む))の指示】 授業時間中に適宜指示を行う。				
【系統的履修】 調理学、食品学、食品化学など				
【履修上の注意・担当者からの一言】 講義前半(山崎担当分)は、生理学の基礎知識があればより理解しやすいと思います。				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	9月21日	感覚科学の基礎:味覚、基本五味と味を感じるしくみ キーワード:味を感じるメカニズム		
2	9月28日	感覚科学の基礎:嗅覚、匂いの生理と知覚、味と匂いの相互作用 キーワード:匂いの生理、匂いを感じるメカニズム		
3	10月5日	味わいを形成する要素:辛味、えぐ味、渋味、コク味 キーワード:香辛料、コクの定義		
4	10月12日	日本料理とは何か:そのおいさと嗜好性		
5	10月19日	郷土食と日本料理		

6	10月26日	料理の塩梅 キーワード:おいしさと好き嫌い
7	11月2日	品位とおいしさ
8	11月9日	油脂のおいしさと日本料理
9	11月16日	食感の科学 キーワード:クロスモーダル作用
10	11月30日	視覚が食品嗜好に与える影響 キーワード:クロスモーダル作用
11	12月7日	日本料理とワイン・日本酒の相性 キーワード:出汁と調味料、油の使い方
12	12月14日	おいしさの構造とその要素 嗜好性と文化的要因の関係 キーワード:嗜好形成に関わる因子とそのメカニズム
13	12月21日	嗜好と嫌悪の形成 キーワード:嗜好形成に関わる因子とそのメカニズム
14	12月28日	食品選択と食行動、食欲調節の生理
15	1月18日	おいしさと持続可能性

<教科書・参考書>

【参考文献】

伏木亨 『おいしさを科学する』（ちくまプリマー新書 筑摩書房）778円（ISBN:4480687440）
高橋拓児 『10品でわかる日本料理』（日本経済新聞出版）1,650円（ISBN:4532168783）

科目番号	50	科目名	生活の中の数学	
英 文 科 目 名	Mathematics in Daily Life			
大学・短期大学名	龍谷		大学	
連 絡 先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5			
	TEL :	077-543-7739	FAX :	077-543-7674
担 当 教 員	村井 実		(瀬田教 学部 非常勤講師)	
実 施 方 法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教 室 名		会場		
授 業 期 間	2026 年 4 月 8 日 (水) ~ 2026 年 7 月 22 日 (水) <毎週 水曜日> 3 時限・講時 13 : 30 ~ 15 : 00			
超過時の選考方法				
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 (筆 記)	50□	%	
	レポ ー ト 試 験 (期 末)		%	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度) 講 義 時 に 簡 単 な 課 題 を 課 す	25□	%	
	そ の 他 (1 回 レポ ー ト を 課 す)	25□	%	
別 途 負 担 費 用	なし		あり()円	
そ の 他 特 記 事 項	各課題の模範解答をManabalに公開し、適宜講義時に指導をする。 【教員との連絡方法】講義終了後に質問を受け付ける。また、講義中にも適宜質問を受け付けるので、積極的に質問をしてほしい。			
<講義概要・到達目標>				
■【講義概要】 高校までいろいろな内容の数学を学んできたと思いますが、日常生活において数学など必要ないと考えている人が多いかもしれません。しかし、数学は皆さんの日常生活の中にいろいろと溶け込んでいます。たとえば、天気予報や銀行の金利などは確立や等比数列の和の考え方を利用しています。すなわち、数学は皆さんにとって非常に身近な存在といえます。 本講義では、高校までで学んできた数学の内容や少し大学の数学の内容を利用して、数学が実際の生活の中で役立つことが実感できることを目標とします。				
■【到達目標】 日々の生活の中で数学を利用して物事を判断できることを目標とする。				
■【講義方法】 《アクティブ・ラーニングの手法を用いて実施》 講義で使用するスライドは事前にManabalにて配布をする。 座学中心であるが、講義中に適宜演習を行う。				
■【授業外学習(自主学習(事前・事後学習を含む)の指示) 予習の必要はない。復習を各回2時間程度行うこと。				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	4 月 8 日	数の概念と歴史(自然数, 整数, 有理数, 実数, 複素数)		
2	4 月 15 日	コンピュータの数字(2進数, 10進数, 16進数)		
3	4 月 22 日	いろいろな平均(相加平均, 相乗平均)		
4	4 月 29 日	貯金と金利(数列)		
5	5 月 13 日	フィボナッチ数列と黄金比(数列)		
6	5 月 20 日	天気予報(確率)		
7	5 月 27 日	宝くじ(確率)		
8	6 月 3 日	最大の儲け(条件付き極値)		
9	6 月 10 日	長さ一定の曲線の面積が最大となる形(条件付き極値)		
10	6 月 17 日	人口問題(微分方程式)		

11	6 月 24 日	X(旧 twitter)のトレンド数(微分方程式)
12	7 月 1 日	楽器の音色(三角関数)
13	7 月 8 日	音の大きさ(対数関数)
14	7 月 15 日	論理とその応用(必要十分条件, 対偶, 否定命題)
15	7 月 22 日	まとめ
<p><教科書・参考書> 特になし</p>		